

**長野県民の結婚・出産・子育て  
に関する意識調査**

**報告書**

**令和4年8月**

**長野県将来世代応援県民会議**



## 目次

1. 調査概要.....	1
(1) 調査目的.....	1
(2) 調査設計.....	1
(3) 回答者基本属性.....	1
(4) 回答者の結婚等に対する意向・実態.....	1
2. 調査結果.....	2
(1) 婚姻状況.....	2
(2) 独身者の結婚に対する意識.....	3
(3) 既婚者の結婚生活の状況.....	20
(4) 働き方に関する現状.....	21
(5) 出産や子育てに関する意識と現状.....	23
附属資料（調査票）.....	53

### ＜報告書の見方＞

- 調査結果の数値は、回答率（%：パーセント）で表示している。回答がない場合には、0.0 の表示は省略している。
- 母数はその質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はnで示している。
- nが30未満の結果については、サンプル数が少ないため、参考値扱いとなる。
- %の数値は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示している。このため各回答の数値の合計が100%とならない場合がある。
- 回答は、単数回答（回答は1つ）の場合と複数回答（回答はいくつでも）の場合、数値を記入する場合とがある。複数回答の問の場合には、その回答割合（%）の合計は100%を超えることがある。
- 比率の差を比較して統計的に有意な差（有意水準5%）がある結果を中心にコメントを記載している。

■検定・ポイント差情報		
<b>比率の差の検定</b> 対 TOTAL 行と比較した結果を数表に表示 ※経年比較の場合は、対令和4年度調査(今回調査)と比較		有意水準 5%で高い
		有意水準 5%で低い

- 女性18～34歳の結果を記載しているところは、「希望出生率」の算出根拠となる間である。「希望出生率」とは、若い世代における、結婚、妊娠・出産、子育てに関する希望が叶うとした場合に想定される出生率を指し、以下の式によって算出される。

$$\begin{aligned}
 \text{希望出生率} &= (\text{女性18～34歳の有配偶者割合} \times \text{夫婦の予定する子どもの数} \\
 &+ \text{女性18～34歳の独身者割合} \times \text{独身者のうち結婚を希望する者の割合} \\
 &\times \text{独身者の希望する子どもの数}) \\
 &\times \text{離死別等の影響}
 \end{aligned}$$



# 1. 調査概要

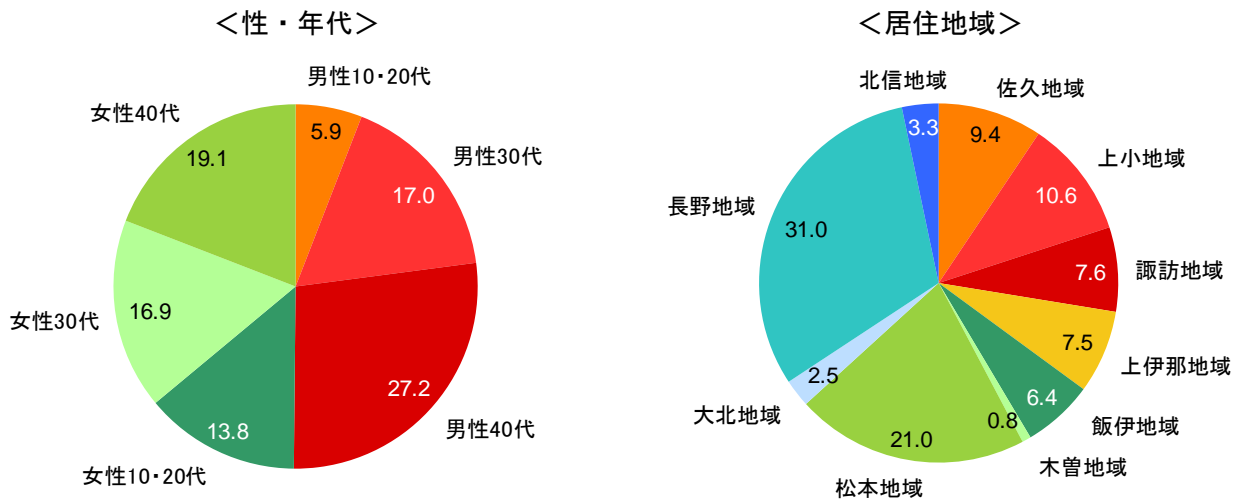
## (1) 調査目的

長野県民の結婚・出産・子育てに対する意識や希望を調査し、「長野県将来世代応援県民会議」における事業の方向性の決定や「しあわせ信州創造プラン 2.0（長野県総合5か年計画）」、「長野県子ども・若者支援総合計画」等の評価指標の検証に活用する。

## (2) 調査設計

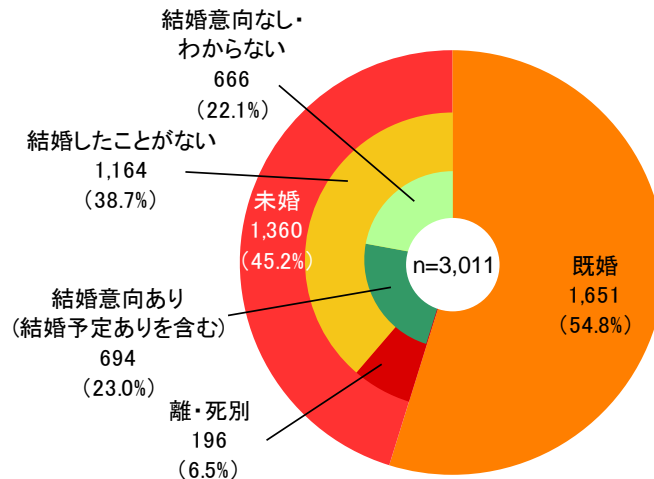
調査方法	インターネット調査
調査対象	以下の条件に該当する者を、インターネットモニターより抽出した。 <対象者条件> ・性別・年齢：18～49歳男女 ・居住地域：長野県 ・長野県の性・年代構成に可能な限り近くなるように回収を行う。
有効回収数	3,011
調査実施時期	令和4年6月15日～令和4年6月21日

## (3) 回答者基本属性



※いずれも n=3,011 単位 (%)

## (4) 回答者の結婚等に対する意向・実態



## 2. 調査結果

### (1) 婚姻状況

問4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

既婚者の割合は54.8%、独身者の割合は45.2%である。

性・年代別にみると、いずれの年代でも女性は男性よりも結婚している割合が高くなっている。

■現在、結婚(事実婚を含む)している ■結婚していたが、現在は離・死別した ■結婚したことはない

		n=	(%)		
	TOTAL	3011	54.8	6.5	38.7
* 性別 × 年代	■男性 計	1511	53.1	5.4	41.6
	10・20代	178	20.8	1.1	78.1
	30代	513	56.3	3.1	40.5
	40代	820	58.0	7.7	34.3
	■女性 計	1500	56.6	7.7	35.7
	10・20代	416	32.2	2.4	65.4
	30代	508	62.4	7.7	29.9
	40代	576	69.1	11.5	19.4

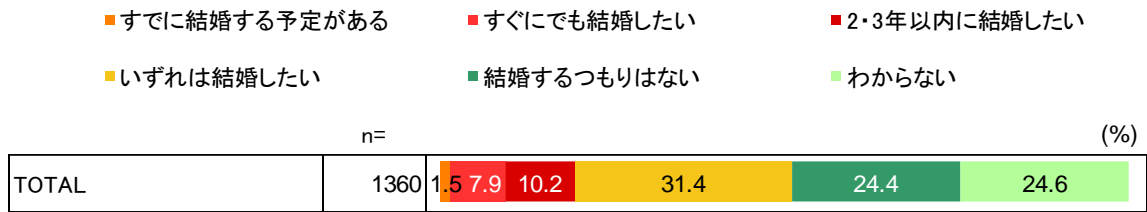
(2) 独身者の結婚に対する意識

問5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)  
【回答者：独身者】

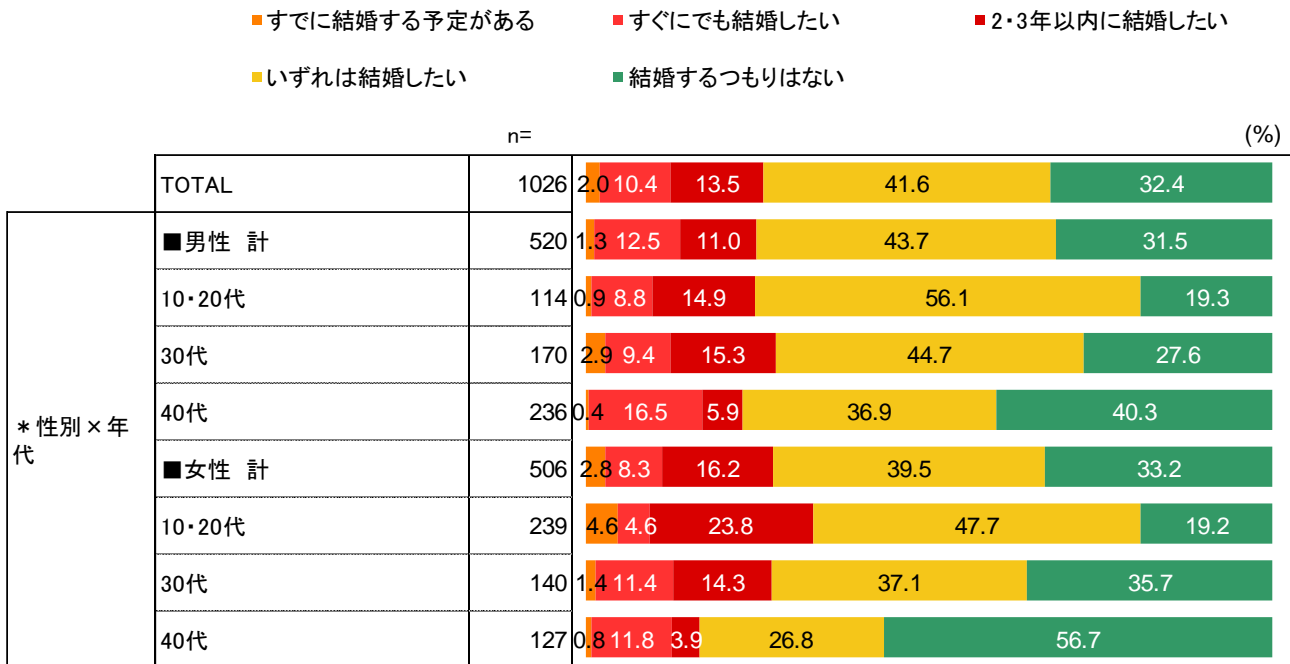
独身者の結婚意向としては、「いずれは結婚したい」が31.4%、「2・3年以内に結婚したい」が10.2%である。「すでに結婚する予定がある」(1.5%)、「すぐにでも結婚したい」(7.9%)と合わせると、約半数(51.0%)は結婚意向があると回答している。

「わからない」の回答を除いた場合、結婚意向があると回答した人の割合は67.5%となり、性・年代別にみると、男女ともに10・20代の結婚意向があると回答した人の割合が最も高く(男女それぞれ80.7%)、女性40代の結婚意向があると回答した人の割合が最も低い(43.3%)。

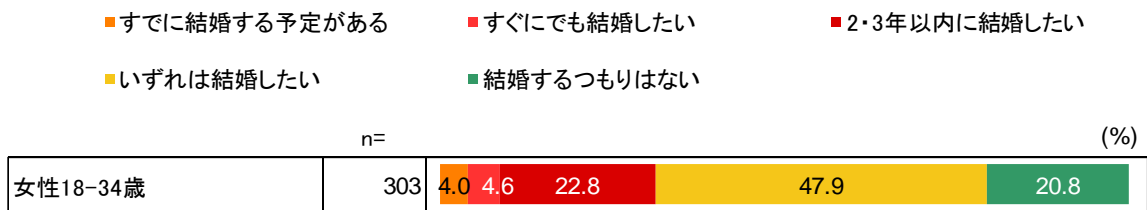
また、希望出生率の算出根拠となる「女性18-34歳」では、結婚意向があると回答した人の割合は79.3%であった。



<「わからない」の回答を除いた場合>



<女性18-34歳の場合> (希望出生率の算出根拠)



性・雇用形態別にみると、結婚意向は、男性では正規の社員・職員が76.4%、女性では正規の社員・職員が69.8%、パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員が68.2%と高い。

10代~30代の場合、「結婚するつもりはない」は、女性の無職・家事で57.6%と高くなっている。

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

		n=	(% )				
TOTAL		945	2.2	11.1	14.0	39.7	33.0
* 性別 × 雇用形態	■男性 計	490	1.4	13.1	11.4	42.0	32.0
	正規の社員・職員	314	1.9	17.2	14.6	42.7	23.6
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	80	5.0	5.0		47.5	42.5
	自営業主・家族従業員	36	2.8	8.3	5.6	44.4	38.9
	無職・家事	60	5.0	6.7		30.0	58.3
	■女性 計	455	3.1	9.0	16.7	37.1	34.1
	正規の社員・職員	239	2.9	8.4	19.2	39.3	30.1
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	151	2.6	10.6	15.9	39.1	31.8
	自営業主・家族従業員	17	5.9	11.8	17.6	29.4	35.3
	無職・家事	48	4.2	6.3	6.3	22.9	60.4

※「学生69人」「その他12人」を除いて計算している。

<10代~30代の場合>

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない

		n=	(% )				
TOTAL		587	3.2	8.7	19.3	43.4	25.4
* 性別 × 雇用形態	■男性 計	257	2.3	9.7	16.3	46.3	25.3
	正規の社員・職員	172	2.9	12.8	20.9	44.2	19.2
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	48	4.2	4.2		52.1	39.6
	自営業主・家族従業員	13	7.7	15.4		53.8	23.1
	無職・家事	24	4.2	8.3		45.8	41.7
	■女性 計	330	3.9	7.9	21.5	41.2	25.5
	正規の社員・職員	173	3.5	6.9	26.0	42.8	20.8
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	114	3.5	11.4	18.4	43.9	22.8
	自営業主・家族従業員	10	10.0		20.0	40.0	30.0
	無職・家事	33	6.1	3.0	9.1	24.2	57.6

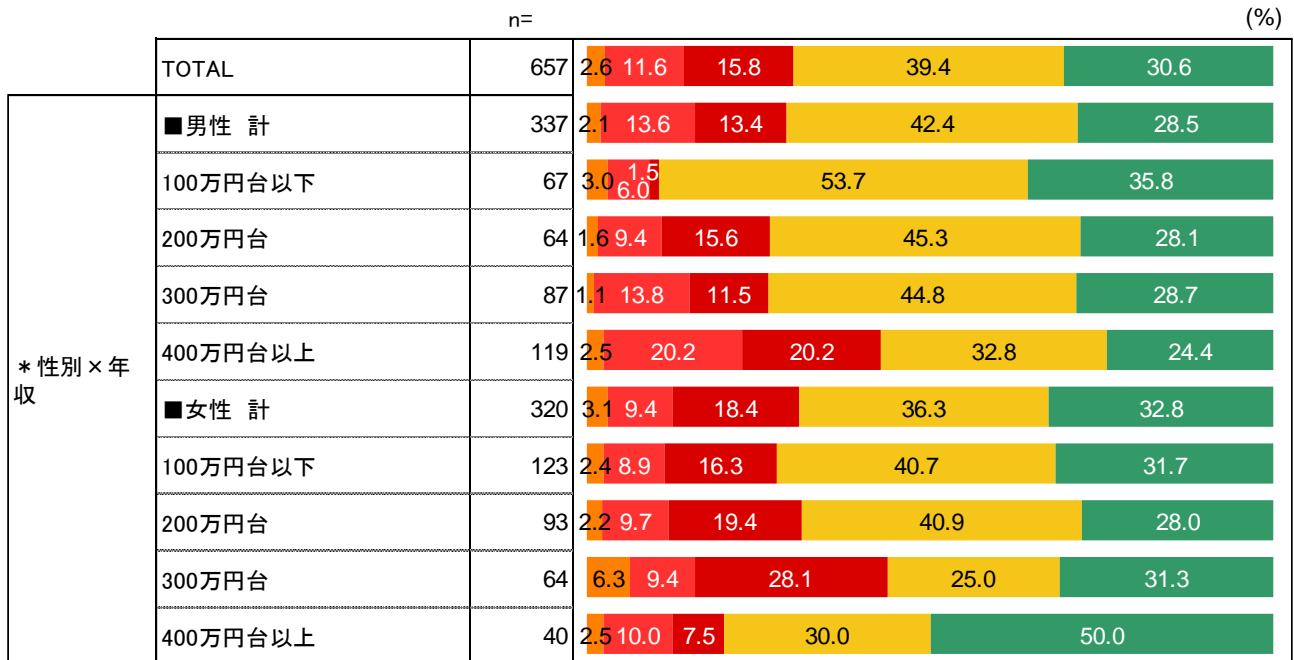
※「学生68人」「その他8人」を除いて計算している。



性・年収別にみると、「結婚するつもりはない」の割合は、男性は年収 100 万円台以下で 35.8%、女性は 400 万円台以上で 50.0%と高い。

10 代～30 代の場合、結婚意向は男性では 300 万円台、女性では 200 万円台が 8 割強となっている。一方、「結婚するつもりはない」の割合は、男性は 100 万円台以下で 35.4%と高くなっている。

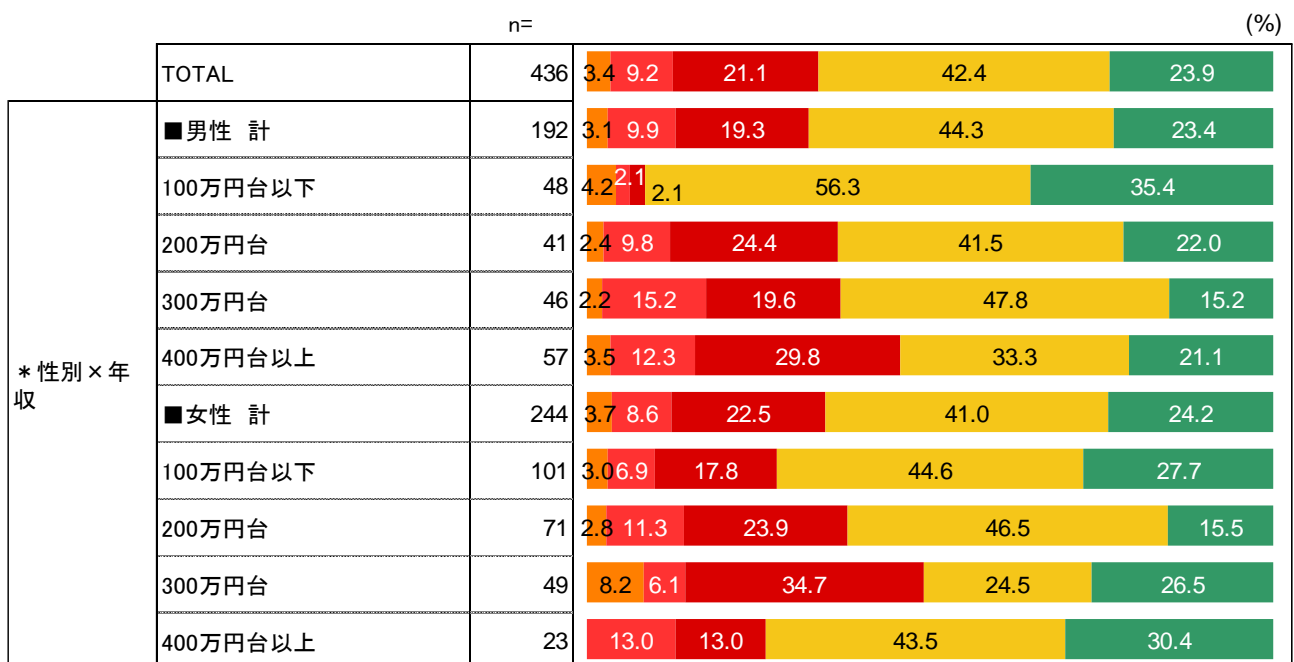
- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



※雇用形態が「学生 69 人」「その他 12 人」「無職・家事 108 人」、年収が「分からない・答えたくない・不明 180 人」を除いて計算している。

### <10 代～30 代の場合>

- すでに結婚する予定がある
- すぐにも結婚したい
- 2・3年以内に結婚したい
- いずれは結婚したい
- 結婚するつもりはない



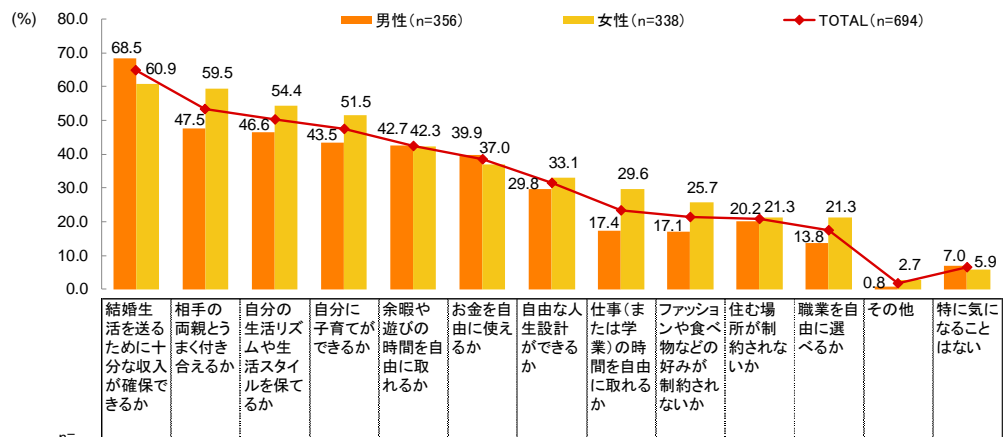
※雇用形態が「学生 68 人」「その他 8 人」「無職・家事 57 人」、年収が「分からない・答えたくない・不明 94 人」を除いて計算している。

問6 あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。  
 (回答はいくつでも) 【回答者：結婚予定・意向がある者】

結婚を考えたときに気になることとしては、「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」(64.8%)が最も高い。次いで、「相手の両親とうまく付き合えるか」(53.3%)、「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(50.4%)と続く。

性・年代別にみると、男性では「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」(68.5%)が高く、特に男性40代では74.5%と高くなっている。女性は結婚にあたって気になることを多く挙げており、特に「自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか」(54.4%)、「仕事(または学業)の時間を自由に取れるか」(29.6%)、「ファッションや食べ物などの好みは制約されないか」(25.7%)、「職業を自由に選べるか」(21.3%)といった項目の割合が高いことから、ライフスタイルの変化に対する懸念が強いことがうかがえる。

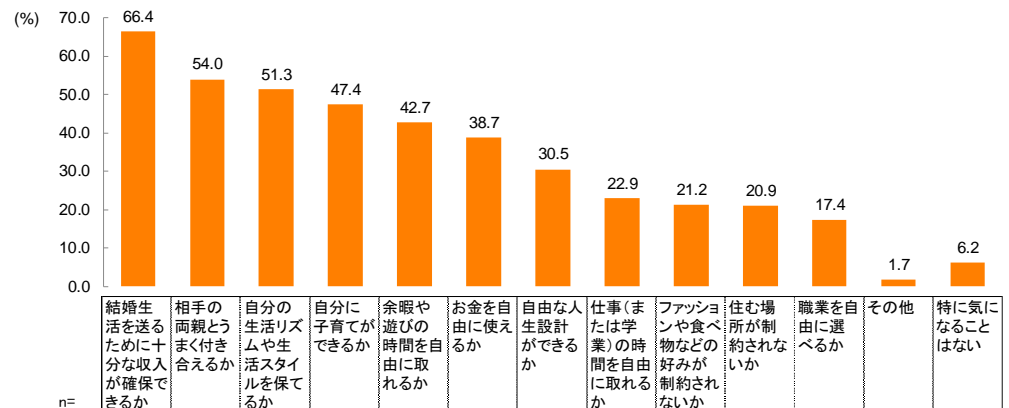
また、女性10代~30代では「自分に子育てができるか」(10・20代：58.0%、30代：60.0%)が高くなっており、ほかの性・年代よりも結婚と出産・育児を結び付けて考えているとみられる。



		n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	自分に子育てができるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	お金を自由に使えるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	ファッションや食べ物などの好みは制約されないか	住む場所が制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL		694	64.8	53.3	50.4	47.4	42.5	38.5	31.4	23.3	21.3	20.7	17.4	1.7	6.5
*性別×年代	■男性 計	356	68.5	47.5	46.6	43.5	42.7	39.9	29.8	17.4	17.1	20.2	13.8	0.8	7.0
	10・20代	92	65.2	37.0	39.1	44.6	45.7	43.5	32.6	18.5	17.4	15.2	12.0	0.0	9.8
	30代	123	64.2	51.2	43.9	40.7	42.3	44.7	30.9	15.4	14.6	20.3	12.2	0.8	7.3
	40代	141	74.5	51.1	53.9	45.4	41.1	33.3	27.0	18.4	19.1	23.4	16.3	1.4	5.0
	■女性 計	338	60.9	59.5	54.4	51.5	42.3	37.0	33.1	29.6	25.7	21.3	21.3	2.7	5.9
	10・20代	193	64.2	58.0	51.3	58.0	43.5	39.9	34.7	30.6	26.9	17.1	21.2	1.6	5.2
	30代	90	61.1	61.1	56.7	60.0	45.6	33.3	34.4	30.0	25.6	24.4	25.6	4.4	4.4
	40代	55	49.1	61.8	61.8	14.5	32.7	32.7	25.5	25.5	21.8	30.9	14.5	3.6	10.9

※グラフはTOTALの順でソート

性・雇用形態別にみると、正規の社員・職員では、「仕事（または学業）の時間を自由に取れるか」が男性 14.6%に対して女性 32.3%、「ファッションや食べ物などの好みは制約されないか」が男性 16.8%に対して女性 27.5%と女性のほうが高くなっており、結婚を機にライフスタイルが制約されないかを気にする様子が見えてくる。

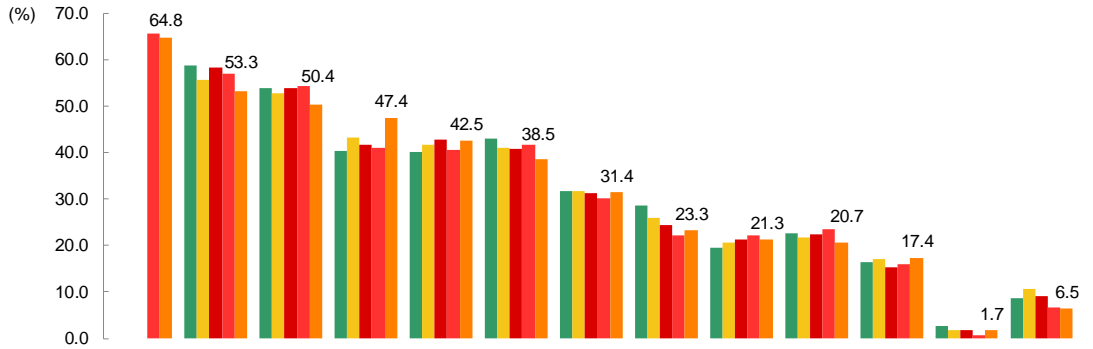


		n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムやライフスタイルを保てるか	自分に子育てができるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	お金を自由に使えるか	自由な人生設計ができるか	仕事（または学業）の時間を自由に取れるか	ファッションや食べ物などの好みは制約されないか	住む場所が制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
TOTAL		633	66.4	54.0	51.3	47.4	42.7	38.7	30.5	22.9	21.2	20.9	17.4	1.7	6.2
*性別×雇用形態	■男性計	333	69.4	48.3	48.3	44.4	42.9	40.2	29.1	16.5	16.8	20.4	14.1	0.9	6.9
	正規の社員・職員	240	66.7	46.3	48.8	44.2	43.8	41.3	30.8	14.6	17.5	17.5	11.3	0.8	7.1
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	46	80.4	52.2	43.5	41.3	45.7	39.1	26.1	17.4	15.2	32.6	23.9	0.0	4.3
	自営業主・家族従業員	22	68.2	59.1	54.5	54.5	45.5	50.0	31.8	27.3	18.2	18.2	13.6	0.0	13.6
	無職・家事	25	76.0	52.0	48.0	44.0	28.0	24.0	16.0	24.0	12.0	28.0	24.0	4.0	4.0
	■女性計	300	63.0	60.3	54.7	50.7	42.3	37.0	32.0	30.0	26.0	21.3	21.0	2.7	5.3
	正規の社員・職員	167	59.9	58.7	56.9	55.1	43.1	41.9	32.9	32.3	27.5	22.8	18.0	2.4	4.2
	パート・アルバイト/派遣・嘱託・契約社員	103	68.9	67.0	50.5	45.6	44.7	33.0	30.1	27.2	25.2	19.4	24.3	2.9	4.9
	自営業主・家族従業員	11	45.5	36.4	54.5	27.3	9.1	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	27.3	9.1	18.2
	無職・家事	19	68.4	52.6	57.9	52.6	42.1	31.6	42.1	31.6	26.3	26.3	26.3	0.0	10.5

※なお、「学生 56 人」「その他 5 人」を除いて計算している。

平成 30～令和 4 年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」が昨年度同様高い。「自分に子育てができるか」は、これまでの年度に比べて今回調査は高くなっている。

■平成30年度調査(n=699) ■令和元年度調査(n=637) ■令和2年度調査(n=581) ■令和3年度調査(n=675) ■令和4年度調査(今回調査)(n=694)



	n=	結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか	相手の両親とうまく付き合えるか	自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか	自分に子育てができるか	余暇や遊びの時間を自由に取れるか	お金を自由に使えるか	自由な人生設計ができるか	仕事(または学業)の時間を自由に取れるか	ファッションや食べ物などの好みが増えるか	住む場所が制約されないか	職業を自由に選べるか	その他	特に気になることはない
令和4年度調査(今回調査)	694	64.8	53.3	50.4	47.4	42.5	38.5	31.4	23.3	21.3	20.7	17.4	1.7	6.5
令和3年度調査	675	65.6	56.9	54.4	40.9	40.6	41.6	30.1	22.1	22.1	23.6	15.9	0.7	6.7
令和2年度調査	581	—	58.2	53.9	41.7	42.7	40.8	31.2	24.3	21.3	22.4	15.3	1.7	9.1
令和元年度調査	637	—	55.6	52.7	43.2	41.6	41.1	31.6	25.9	20.6	21.7	17.0	1.7	10.7
平成30年度調査	699	—	58.8	53.8	40.3	40.1	42.9	31.6	28.6	19.6	22.7	16.5	2.7	8.7

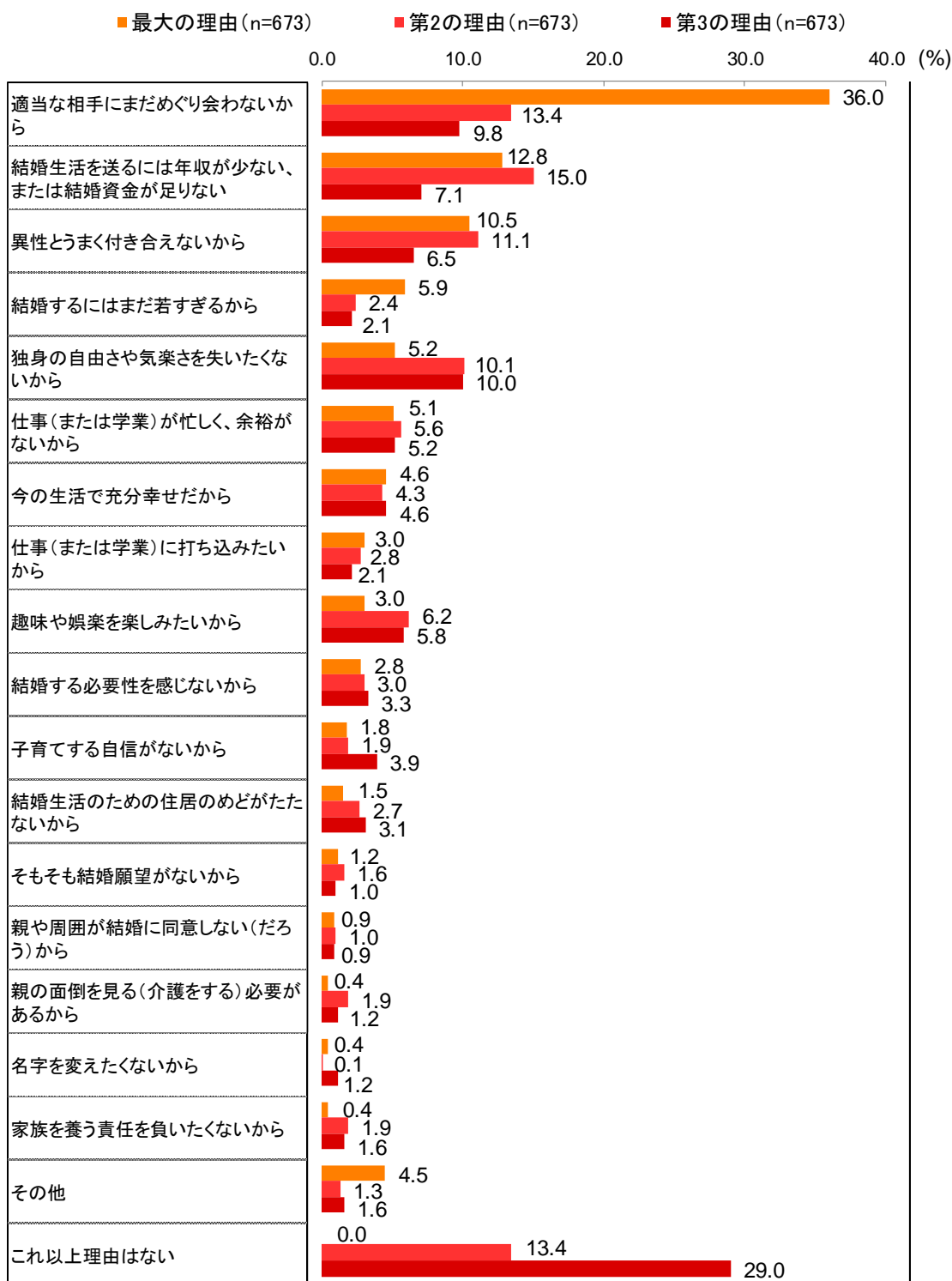
※グラフは今回調査の順でソート

※「結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか」は令和3年度からの新規項目

問7 あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)  
 【回答者：結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）、結婚意向がない者】

現在独身でいる最大の理由を結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）についてみると、「適当な相手にまだめぐり会わないから」（36.0%）が最も高い。次いで、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」（12.8%）、「異性とうまく付き合えないから」（10.5%）と続く。

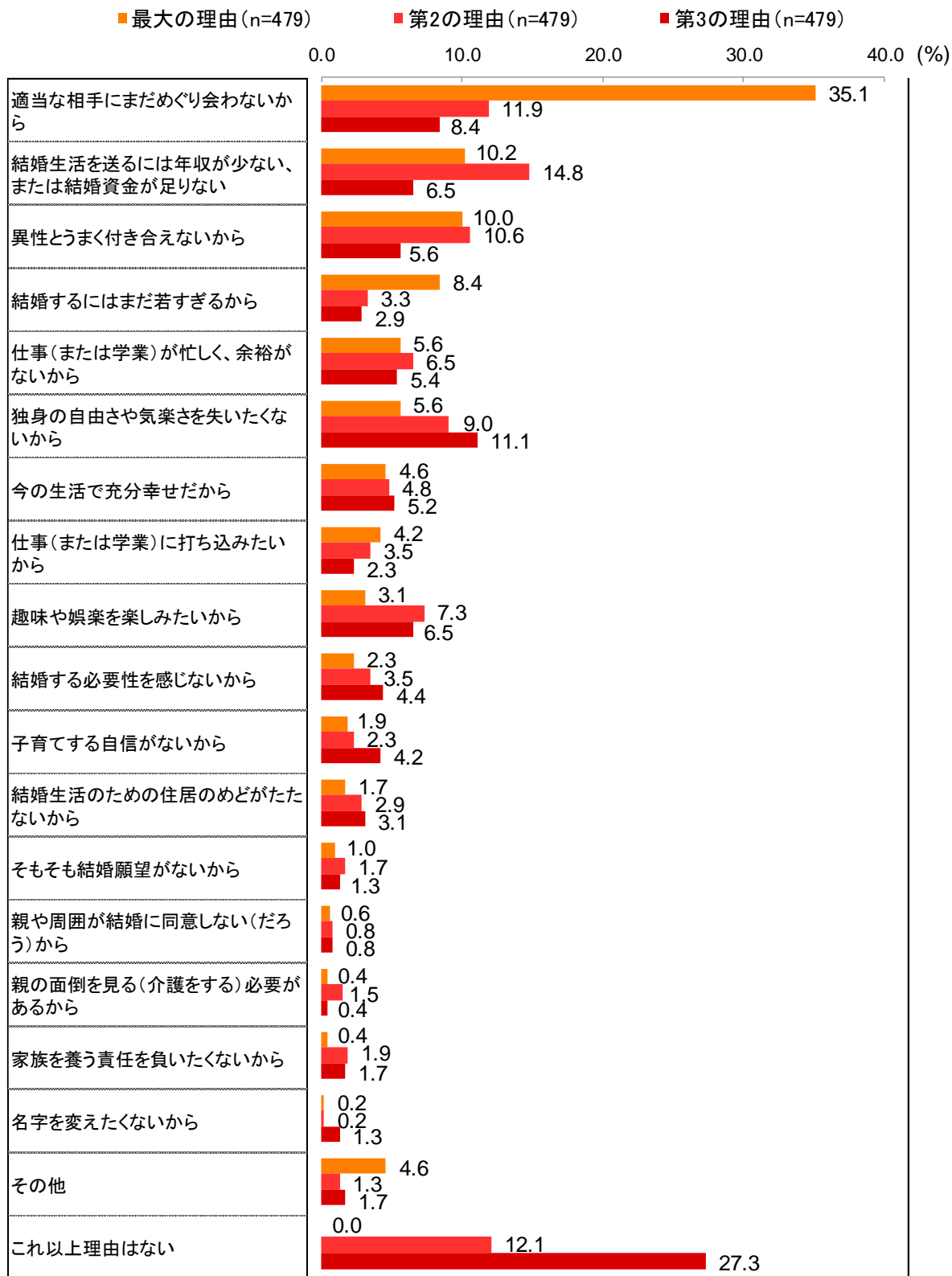
<結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の場合>



※グラフは「最大の理由」の順でソート

結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の10代～30代の場合、現在独身でいる最大の理由は「適当な相手にまだめぐり会わないから」（35.1%）が最も高い。次いで、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」（10.2%）、「異性とうまく付き合えないから」（10.0%）と続いており、全年代と同様の傾向がみられる。

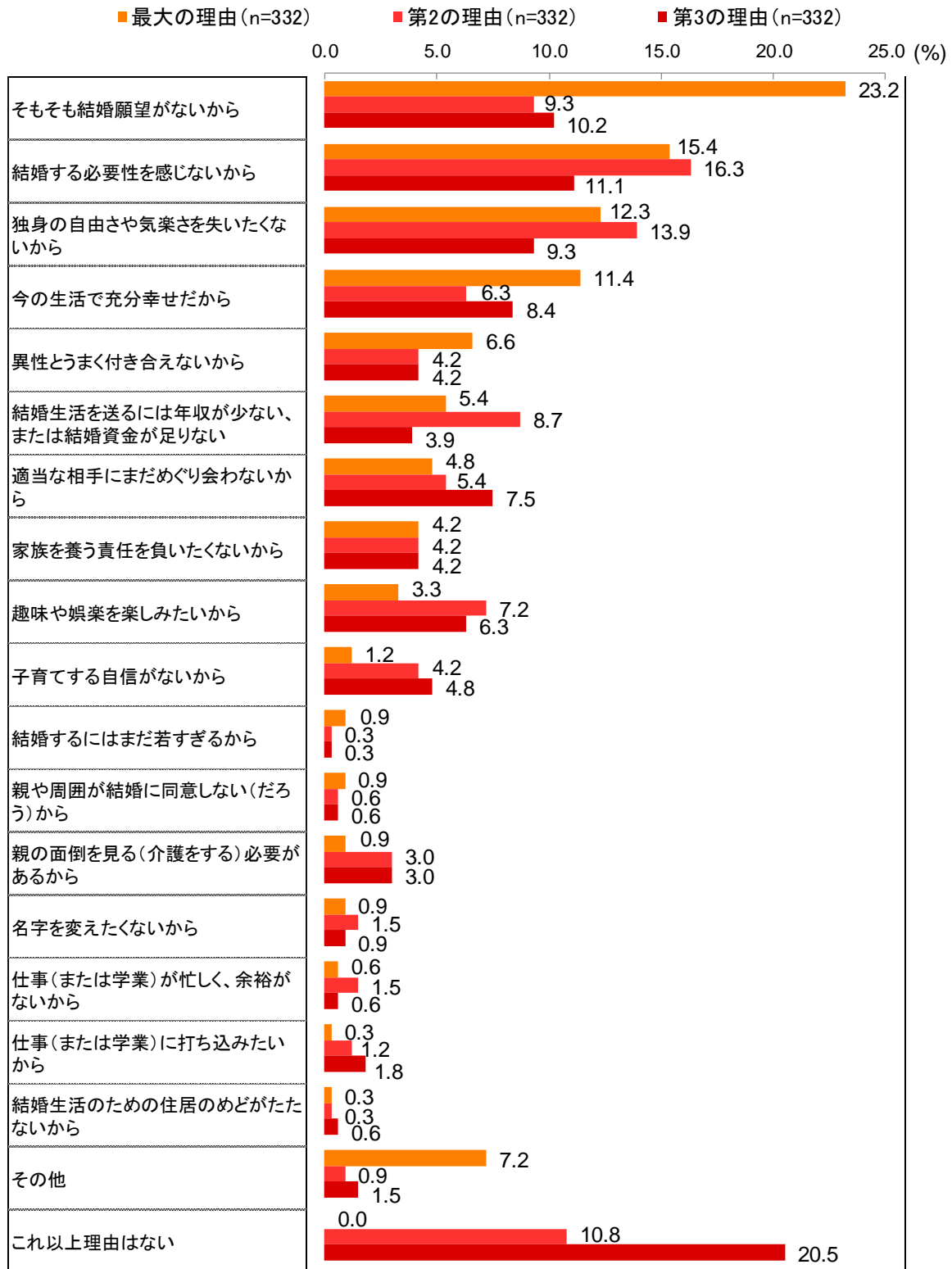
<結婚意向がある者（結婚予定がある者を除く）の10代～30代の場合>



※グラフは「最大の理由」の順でソート

現在独身でいる最大の理由を結婚意向がない者についてみると、「そもそも結婚願望がないから」(23.2%)、「結婚する必要性を感じないから」(15.4%)が高い。また、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(12.3%)、「今の生活で充分幸せだから」(11.4%)といった項目も高く、現在のライフスタイルを維持したい意向もうかがえる。

<結婚意向がない者の場合>

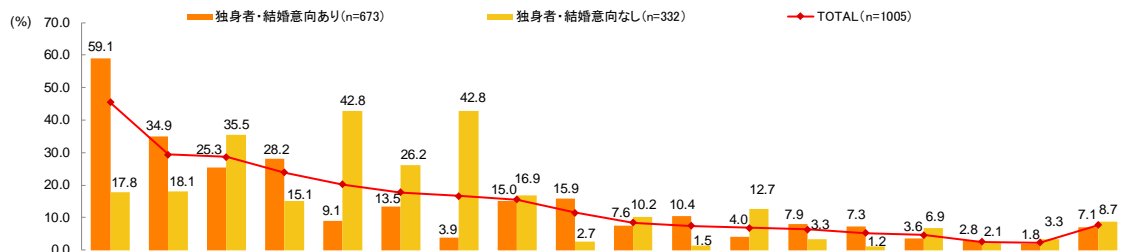


※グラフは「最大の理由」の順でソート

結婚意向を性・年代別にみると、「結婚意向あり」では、「適当な相手にまだめぐり合わないから」(59.1%)が高くなっている。「適当な相手にまだめぐり合わないから」以外では、「結婚意向あり」の男性では、「結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない」(40.4%)、「異性とうまく付き合えないから」(33.0%)が高くなっている。また、「結婚意向あり」の10・20代では、男性では、「趣味や娯楽を楽しみたいから」(26.4%)、女性では「仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから」(20.3%)が高くなっている。

「結婚意向なし」では、「結婚する必要性を感じないから」「そもそも結婚願望がないから」がともに42.8%と高くなっている。「結婚意向なし」の男性10・20代では「子育てする自信がないから」(20.7%)、男性30代・40代では「家族を養う責任を負いたくないから」(21.3%、16.8%)が高い。女性10・20代では「趣味や娯楽を楽しみたいから」(34.8%)、女性30代では「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」(50.0%)、女性40代では「今の生活で充分幸せだから」(40.3%)と高くなっている。

＜最大の理由、第2の理由、第3の理由を合算した場合＞



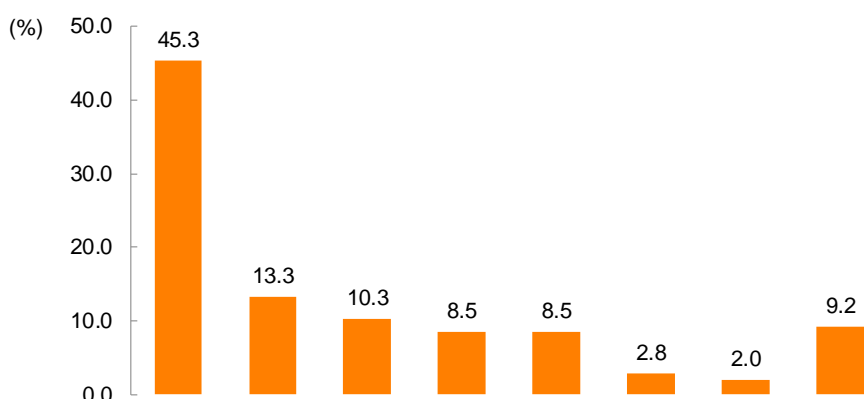
	n=	適当な相手にまだめぐり合わないから	結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	異性とうまく付き合えないから	結婚する必要性を感じないから	今の生活で充分幸せだから	そもそも結婚願望がないから	趣味や娯楽を楽しみたいから	仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから	子育てする自信がないから	結婚するにはまだ若すぎるから	家族を養う責任を負いたくないから	仕事(または学業)に打ち込みたいから	結婚生活のための住居のめどがたたないから	親の面倒を見る(介護をする)必要があるから	親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から	名字を変えたくないから	その他
TOTAL	1005	45.5	29.4	28.7	23.9	20.2	17.7	16.7	15.6	11.5	8.5	7.5	6.9	6.4	5.3	4.7	2.6	2.3	7.7
独身者・結婚意向あり	673	59.1	34.9	25.3	28.2	9.1	13.5	3.9	15.0	15.9	7.6	10.4	4.0	7.9	7.3	3.6	2.8	1.8	7.1
■男性計	349	61.3	40.4	25.8	33.0	7.4	10.9	4.0	18.6	13.5	7.2	6.3	5.4	5.4	7.2	3.4	3.2	0.9	6.3
10・20代	91	54.9	24.2	19.8	27.5	11.0	13.2	4.4	26.4	16.5	4.4	24.2	5.5	11.0	6.6	0.0	1.1	1.1	5.5
30代	118	60.2	41.5	32.2	34.7	7.6	10.2	5.1	17.8	13.6	9.3	0.0	7.6	5.1	7.6	2.5	3.4	0.8	6.8
40代	140	66.4	50.0	24.3	35.0	5.0	10.0	2.9	14.3	11.4	7.1	0.0	3.6	2.1	7.1	6.4	4.3	0.7	6.4
■女性計	324	56.8	29.0	24.7	23.1	10.8	16.4	3.7	11.1	18.5	8.0	14.8	2.5	10.5	7.4	3.7	2.5	2.8	8.0
10・20代	182	45.6	31.9	22.0	15.4	11.0	18.7	2.2	13.7	20.3	9.9	26.4	1.6	14.3	11.0	2.2	2.7	1.6	6.6
30代	88	69.3	25.0	30.7	36.4	11.4	13.6	5.7	12.5	18.2	8.0	0.0	2.3	6.8	2.3	4.5	1.1	3.4	10.2
40代	54	74.1	25.9	24.1	27.8	9.3	13.0	5.6	0.0	13.0	1.9	0.0	5.6	3.7	3.7	7.4	3.7	5.6	9.3
独身者・結婚意向なし	332	17.8	18.1	35.5	15.1	42.8	26.2	42.8	16.9	2.7	10.2	1.5	12.7	3.3	1.2	6.9	2.1	3.3	8.7
■男性計	164	16.5	29.9	30.5	15.9	33.5	20.1	40.9	18.9	3.7	12.2	1.2	18.3	3.7	1.8	6.7	1.8	0.0	9.8
10・20代	22	9.1	9.1	27.3	40.9	40.9	18.2	40.9	22.7	4.5	22.7	9.1	18.2	0.0	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5
30代	47	19.1	27.7	31.9	12.8	40.4	19.1	44.7	21.3	4.3	14.9	0.0	21.3	2.1	2.1	2.1	0.0	0.0	12.8
40代	95	16.8	35.8	30.5	11.6	28.4	21.1	38.9	16.8	3.2	8.4	0.0	16.8	5.3	2.1	10.5	2.1	0.0	9.5
■女性計	168	19.0	6.5	40.5	14.3	51.8	32.1	44.6	14.9	1.8	8.3	1.8	7.1	3.0	0.6	7.1	2.4	6.5	7.7
10・20代	46	21.7	10.9	37.0	19.6	41.3	17.4	39.1	34.8	2.2	15.2	6.5	10.9	4.3	0.0	0.0	2.2	4.3	8.7
30代	50	14.0	6.0	50.0	20.0	54.0	34.0	48.0	10.0	2.0	10.0	0.0	8.0	4.0	2.0	2.0	4.0	4.0	6.0
40代	72	20.8	4.2	36.1	6.9	56.9	40.3	45.8	5.6	1.4	2.8	0.0	4.2	1.4	0.0	15.3	1.4	9.7	8.3



問8 「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)  
 【回答者：問7で「適当な相手にまだめぐり会わないから」と回答した者】

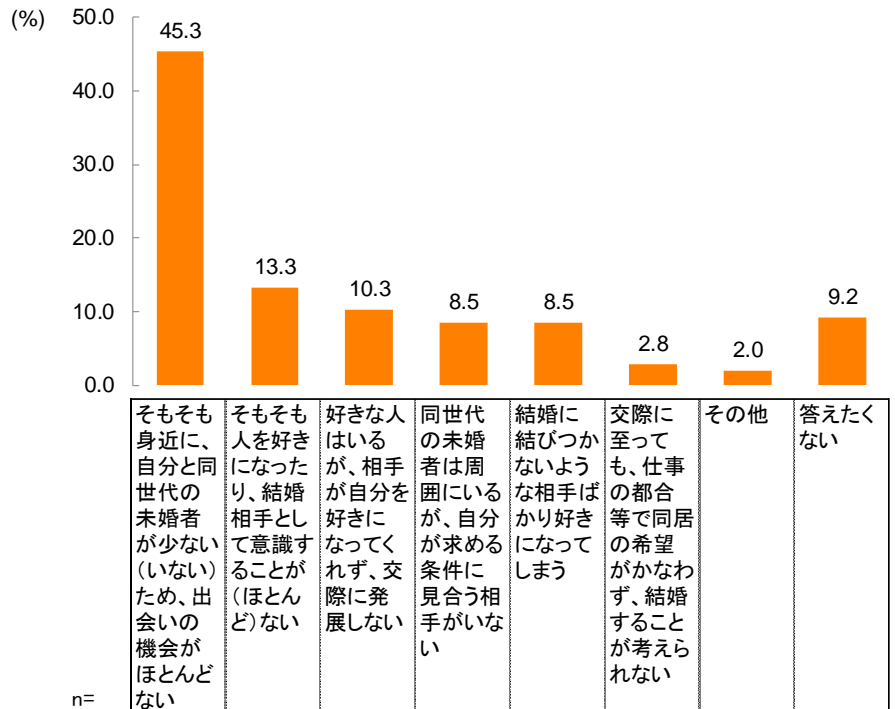
現在独身でいる理由として「適当な相手にまだめぐり会わないから」の具体的な理由については、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない」(45.3%)が最も高い。

性・年代別にみると、男性10・20代では「同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない」(19.2%)、男性30代では「好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない」(17.5%)が高い。また、女性30代では「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない」(22.1%)が高くなっている。



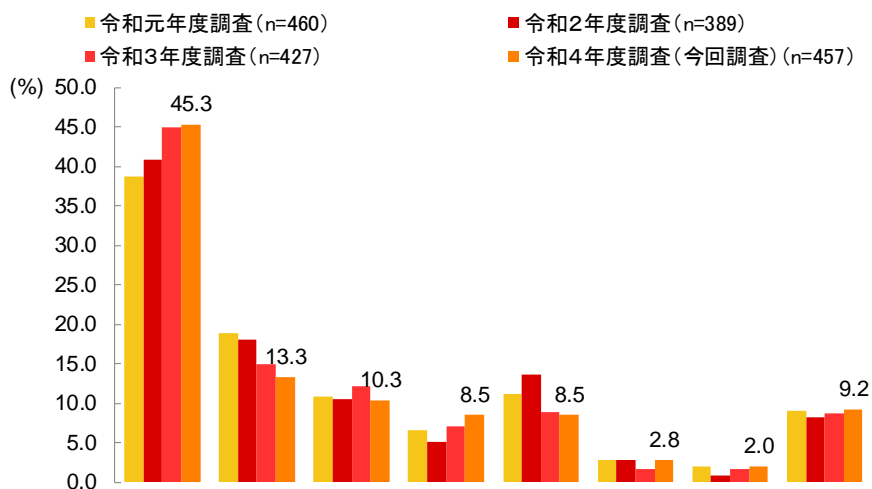
		n=	そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない	そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない	好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない	同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない	結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう	交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない	その他	答えたくない
TOTAL		457	45.3	13.3	10.3	8.5	8.5	2.8	2.0	9.2
*性別×年代	■男性 計	241	47.3	8.3	13.7	8.3	7.9	4.1	2.5	7.9
	10・20代	52	38.5	11.5	15.4	19.2	3.8	5.8	0.0	5.8
	30代	80	50.0	8.8	17.5	3.8	6.3	6.3	3.8	3.8
	40代	109	49.5	6.4	10.1	6.4	11.0	1.8	2.8	11.9
	■女性 計	216	43.1	19.0	6.5	8.8	9.3	1.4	1.4	10.6
	10・20代	93	35.5	19.4	7.5	12.9	6.5	2.2	3.2	12.9
	30代	68	51.5	22.1	4.4	4.4	10.3	0.0	0.0	7.4
	40代	55	45.5	14.5	7.3	7.3	12.7	1.8	0.0	10.9

性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい」と回答した男性では、ほかの性・結婚意向と比べ、「好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない」(23.7%)が高い。



		n=	45.3	13.3	10.3	8.5	8.5	2.8	2.0	9.2
TOTAL		457	45.3	13.3	10.3	8.5	8.5	2.8	2.0	9.2
*性別×結婚意向	■男性計	241	47.3	8.3	13.7	8.3	7.9	4.1	2.5	7.9
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	76	44.7	2.6	23.7	10.5	3.9	6.6	2.6	5.3
	いずれは結婚したい	138	51.4	8.7	10.1	8.0	8.0	2.9	2.9	8.0
	結婚するつもりはない	27	33.3	22.2	3.7	3.7	18.5	3.7	0.0	14.8
	■女性計	216	43.1	19.0	6.5	8.8	9.3	1.4	1.4	10.6
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	71	49.3	9.9	7.0	8.5	12.7	1.4	1.4	9.9
	いずれは結婚したい	113	43.4	20.4	6.2	10.6	8.8	1.8	1.8	7.1
	結婚するつもりはない	32	28.1	34.4	6.3	3.1	3.1	0.0	0.0	25.0

令和元～4年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない」はやや増加傾向にある一方で、「そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない」は減少傾向にある。

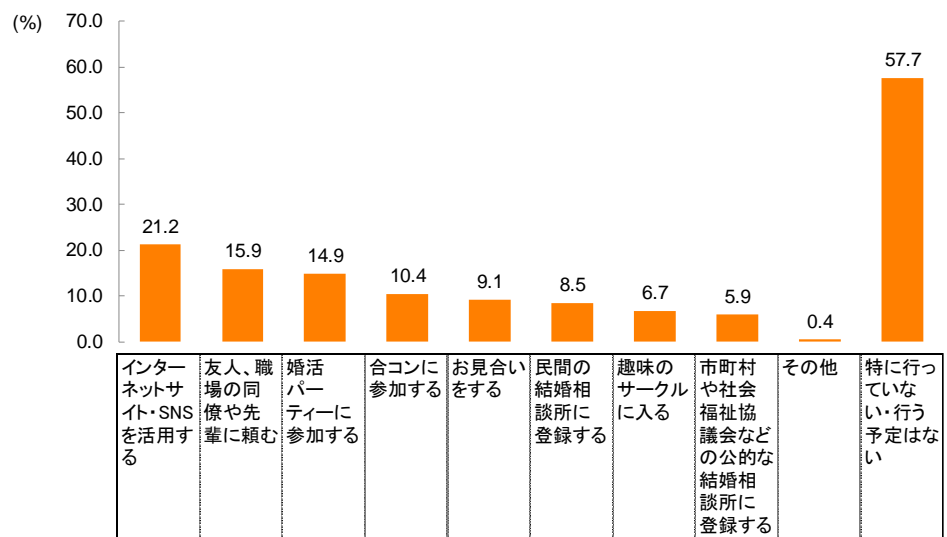


	n	そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない（いない）ため、出会いの機会がほとんどない	そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが（ほとんど）ない	好きな人はいるが、相手が自分を好きにならず、交際に発展しない	同世代の未婚者は周囲にいて、自分が求める条件に見合う相手がいらない	結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう	交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない	その他	答えたくない
令和4年度調査（今回調査）	457	45.3	13.3	10.3	8.5	8.5	2.8	2.0	9.2
令和3年度調査	427	45.0	15.0	12.2	7.0	8.9	1.6	1.6	8.7
令和2年度調査	389	40.9	18.0	10.5	5.1	13.6	2.8	0.8	8.2
令和元年度調査	460	38.7	18.9	10.9	6.5	11.1	2.8	2.0	9.1

問9 あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。  
 (回答はいくつでも) 【回答者：結婚意向がある者(結婚予定がある者を除く)】

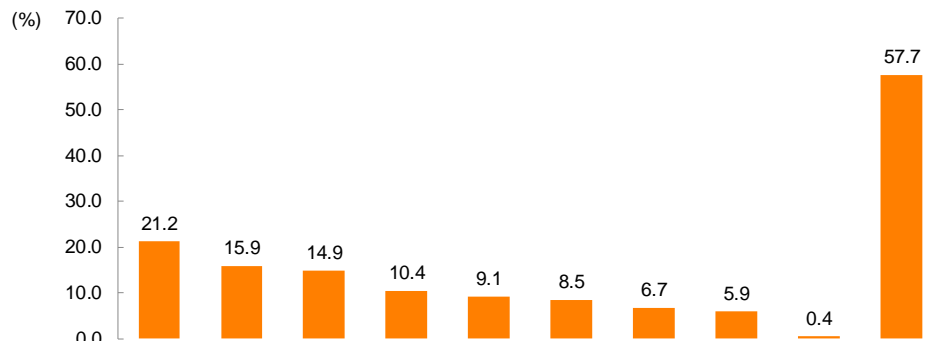
「婚活」として行っていること(今後行いたいこと)としては、「インターネットサイト・SNSを活用する」(21.2%)が最も高い。次いで、「友人、職場の同僚や先輩に頼む」(15.9%)、「婚活パーティーに参加する」(14.9%)と続く。一方、「婚活」は「特に行っていない・行う予定はない」は約6割(57.7%)を占める。

性・年代別にみると、30代では、男性は「合コンに参加する」(16.1%)、「お見合いをする」(14.4%)、女性は「民間の結婚相談所に登録する」(14.8%)、「市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する」(11.4%)が高い。また、40代では、男性は「民間の結婚相談所に登録する」(13.6%)、女性は「婚活パーティーに参加する」(29.6%)が高くなっている。



		n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	合コンに参加する	お見合いをする	民間の結婚相談所に登録する	趣味のサークルに入る	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		673	21.2	15.9	14.9	10.4	9.1	8.5	6.7	5.9	0.4	57.7
*性別×年代	■男性 計	349	22.1	15.2	14.3	11.7	11.2	9.7	8.9	6.6	0.6	55.6
	10・20代	91	19.8	14.3	8.8	7.7	6.6	4.4	7.7	3.3	0.0	62.6
	30代	118	26.3	17.8	16.9	16.1	14.4	9.3	9.3	6.8	0.0	51.7
	40代	140	20.0	13.6	15.7	10.7	11.4	13.6	9.3	8.6	1.4	54.3
	■女性 計	324	20.4	16.7	15.4	9.0	6.8	7.1	4.3	5.2	0.3	59.9
	10・20代	182	20.3	13.2	9.3	8.2	3.3	2.7	4.4	1.6	0.0	66.5
	30代	88	25.0	20.5	19.3	6.8	9.1	14.8	2.3	11.4	1.1	47.7
	40代	54	13.0	22.2	29.6	14.8	14.8	9.3	7.4	7.4	0.0	57.4

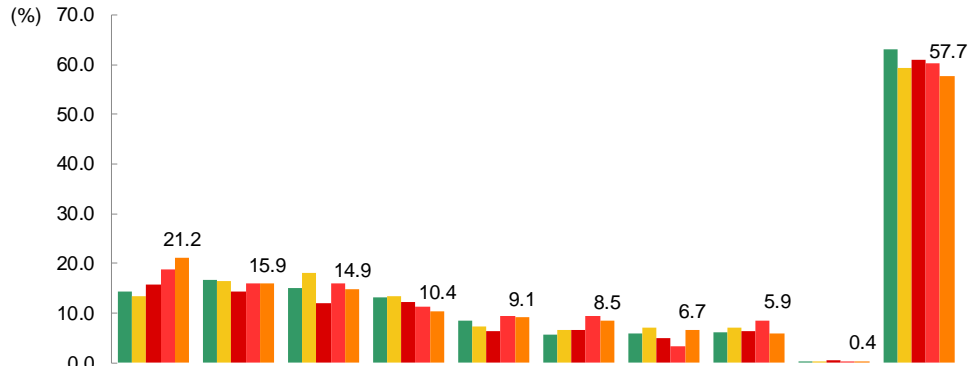
性・結婚意向別にみると、「すぐにでも結婚したい／2・3年以内に結婚したい」と回答した者では、男性は「婚活パーティーに参加する」(23.0%)、「合コンに参加する」(20.5%)、「お見合いをする」(17.2%)、「民間の結婚相談所に登録する」(13.9%)が高くなっている。



		n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	合コンに参加する	お見合いをする	民間の結婚相談所に登録する	趣味のサークルに入る	市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
TOTAL		673	21.2	15.9	14.9	10.4	9.1	8.5	6.7	5.9	0.4	57.7
* 性別 × 結婚意向	■男性 計	349	22.1	15.2	14.3	11.7	11.2	9.7	8.9	6.6	0.6	55.6
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	122	25.4	18.9	23.0	20.5	17.2	13.9	8.2	7.4	0.8	41.8
	いずれは結婚したい	227	20.3	13.2	9.7	7.0	7.9	7.5	9.3	6.2	0.4	63.0
	■女性 計	324	20.4	16.7	15.4	9.0	6.8	7.1	4.3	5.2	0.3	59.9
	すぐにでも結婚したい/2・3年以内に結婚したい	124	25.8	18.5	20.2	12.1	12.1	9.7	5.6	8.9	0.0	52.4
	いずれは結婚したい	200	17.0	15.5	12.5	7.0	3.5	5.5	3.5	3.0	0.5	64.5

平成30～令和4年度調査（今回調査）までの経年変化をみると、「インターネットサイト・SNSを活用する」はやや増加傾向がみられる。

■平成30年度調査(n=652) ■令和元年度調査(n=599) ■令和2年度調査(n=551) ■令和3年度調査(n=648) ■令和4年度調査(今回調査)(n=673)



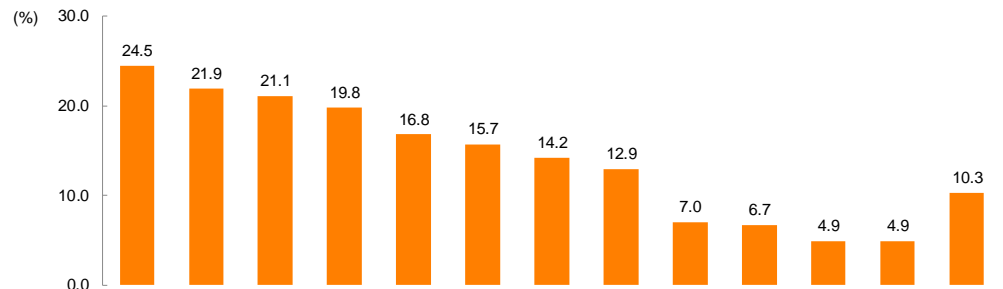
	n=	インターネットサイト・SNSを活用する	友人、職場の同僚や先輩に頼む	婚活パーティーに参加する	合コンに参加する	お見合いをする	民間の結婚相談所に登録する	趣味のサークルに入る	市町村や社会福祉協会などの公的な結婚相談所に登録する	その他	特に行っていない・行う予定はない
令和4年度調査(今回調査)	673	21.2	15.9	14.9	10.4	9.1	8.5	6.7	5.9	0.4	57.7
令和3年度調査	648	18.8	15.9	15.9	11.4	9.4	9.4	3.4	8.5	0.3	60.2
令和2年度調査	551	15.8	14.3	12.0	12.2	6.4	6.7	4.9	6.5	0.5	61.0
令和元年度調査	599	13.5	16.5	18.2	13.5	7.3	6.7	7.0	7.0	0.3	59.3
平成30年度調査	652	14.3	16.7	15.0	13.3	8.4	5.7	6.0	6.1	0.3	63.0

※グラフは今回調査の順でソート

問10 婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：問9で婚活は特に行っていないと回答した者】

婚活を特に行っていない・行う予定はない理由としては、「交際相手がいるから」(24.5%)、「自然な流れで出会いたいから」(21.9%)、「面倒だから」(21.1%)が高い。

性・年代別にみると、男性30代では、「具体的に何をすればよいかわからないから」(29.5%)、「婚活サービスは参加料金が安いから」(27.9%)が高い。男性40代では、「婚活サービスは料金が安いから」(26.3%)、「婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから」(13.2%)が高い。女性10・20代では、「交際相手がいるから」(40.5%)、女性40代では、「婚活サービスは個人情報も扱いに不安があるから」(19.4%)が高くなっている。



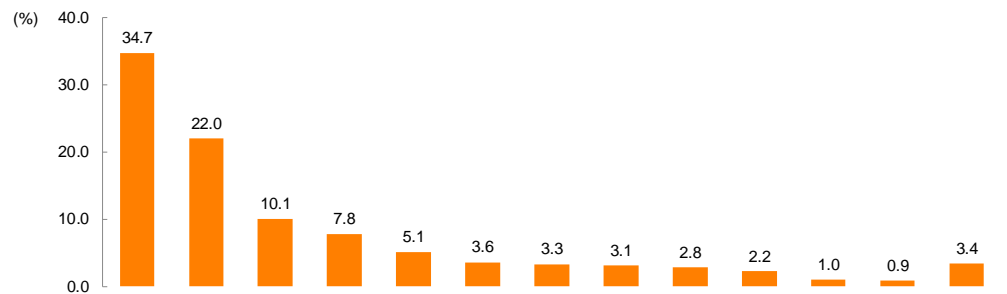
		n=	交際相手がいるから	自然な流れで出会いたいから	面倒だから	そこまでする必要を感じないから	具体的に何をすればよいかわからないから	忙しくて時間が足りないから	婚活サービスは参加料が高いから	婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから	婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから	婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから	婚活サービスは日程が合わないから	その他	答えたくない
TOTAL		388	24.5	21.9	21.1	19.8	16.8	15.7	14.2	12.9	7.0	6.7	4.9	4.9	10.3
*性別×年代	■男性計	194	14.9	22.2	24.2	20.1	21.6	15.5	20.6	15.5	6.2	8.2	5.7	3.6	12.4
	10・20代	57	21.1	19.3	17.5	21.1	12.3	17.5	5.3	7.0	1.8	3.5	1.8	1.8	19.3
	30代	61	18.0	18.0	31.1	21.3	29.5	14.8	27.9	18.0	4.9	6.6	4.9	8.2	8.2
	40代	76	7.9	27.6	23.7	18.4	22.4	14.5	26.3	19.7	10.5	13.2	9.2	1.3	10.5
	■女性計	194	34.0	21.6	18.0	19.6	11.9	16.0	7.7	10.3	7.7	5.2	4.1	6.2	8.2
	10・20代	121	40.5	19.0	15.7	19.8	6.6	14.9	2.5	7.4	4.1	2.5	4.1	4.1	8.3
	30代	42	23.8	23.8	19.0	19.0	21.4	19.0	9.5	11.9	9.5	4.8	2.4	9.5	9.5
	40代	31	22.6	29.0	25.8	19.4	19.4	16.1	25.8	19.4	19.4	16.1	6.5	9.7	6.5

(3) 既婚者の結婚生活の状況

問11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)  
【回答者：既婚者】

夫婦が知り合ったきっかけは、「職場や仕事の関係で」(34.7%)が最も高い。次いで、「友人やきょうだいを通じて」(22.0%)、「学校で」(10.1%)と続く。

性・年代別にみると、男性は、30代では「婚活イベントで」(5.5%)、40代では「職場や仕事の関係で」(42.0%)が高い。女性は、10・20代では「インターネットサイトやSNSで」(16.4%)、40代では「友人やきょうだいを通じて」(26.9%)が高くなっている。



		n=	職場や仕事の関係で	友人やきょうだいを通じて	学校で	インターネットサイトやSNSで	学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	アルバイトで	婚活イベントで	街なかや旅先で	見合いで(親戚や上役などの紹介も含む)	結婚相談所で	地域のイベントで	幼なじみ、隣人関係	その他
TOTAL		1651	34.7	22.0	10.1	7.8	5.1	3.6	3.3	3.1	2.8	2.2	1.0	0.9	3.4
*性別×年代	■男性計	802	36.7	18.3	11.6	6.5	6.4	3.2	3.9	2.7	2.5	2.4	1.1	1.4	3.4
	10・20代	37	16.2	18.9	29.7	8.1	5.4	2.7	2.7	2.7	2.7	0.0	5.4	2.7	2.7
	30代	289	30.4	21.8	13.1	7.6	6.2	3.5	5.5	1.4	1.0	1.4	1.4	1.4	5.2
	40代	476	42.0	16.2	9.2	5.7	6.5	3.2	2.9	3.6	3.4	3.2	0.6	1.3	2.3
	■女性計	849	32.9	25.6	8.6	9.1	3.9	4.0	2.7	3.5	3.1	2.0	0.8	0.5	3.4
	10・20代	134	24.6	21.6	14.9	16.4	3.0	6.0	0.7	6.0	0.0	0.7	0.7	0.7	4.5
	30代	317	32.5	25.6	10.4	10.4	3.5	3.2	4.1	1.9	1.9	1.3	0.9	0.9	3.5
	40代	398	35.9	26.9	5.0	5.5	4.5	4.0	2.3	4.0	5.0	3.0	0.8	0.0	3.0



(4) 働き方に関する現状

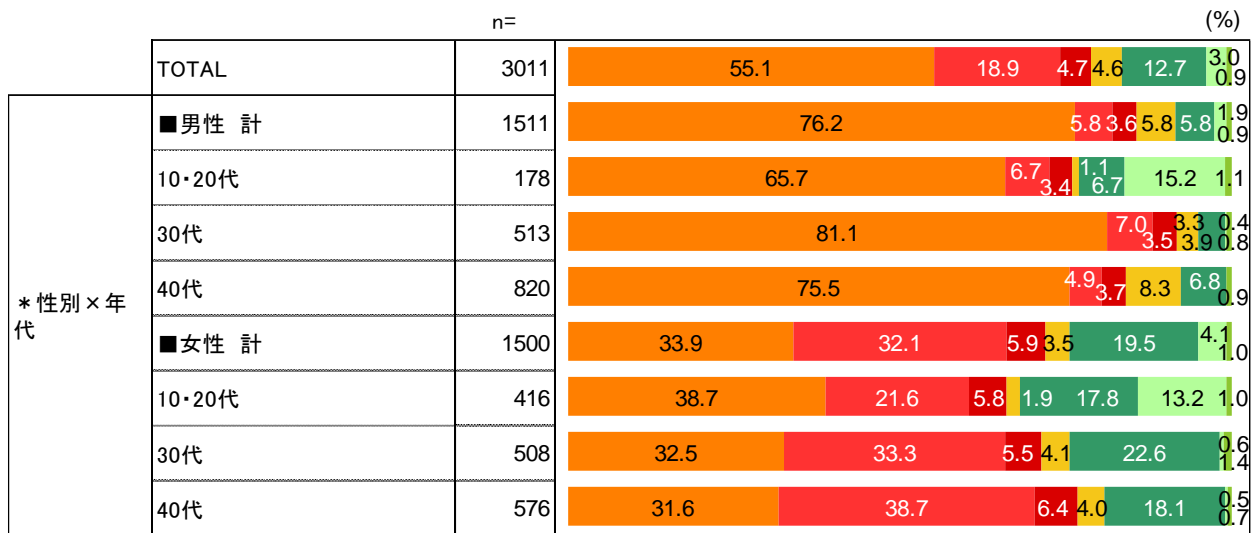
問12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。（回答はそれぞれ1つ）

回答者自身の就労状況を性・年代別にみると、男性の場合、30代、40代では「正規の社員・職員」が8割前後（30代：81.1%、40代：75.5%）を占めるが、10・20代では65.7%とやや低い割合である。一方、女性の場合、「正規の社員・職員」は10・20代では38.7%で、30代（32.5%）、40代（31.6%）よりもやや高くなっている。

配偶者の就労状況は、男性回答者の配偶者の場合、10・20代では「正規の社員・職員」が54.1%と高いが、30代・40代では「パート・アルバイト」または「無職・家事」の割合が高くなっている。女性回答者の配偶者の場合、いずれの年代でも「正規の社員・職員」が8割を超えている（10・20代：85.8%、30代：89.6%、40代：83.4%）。

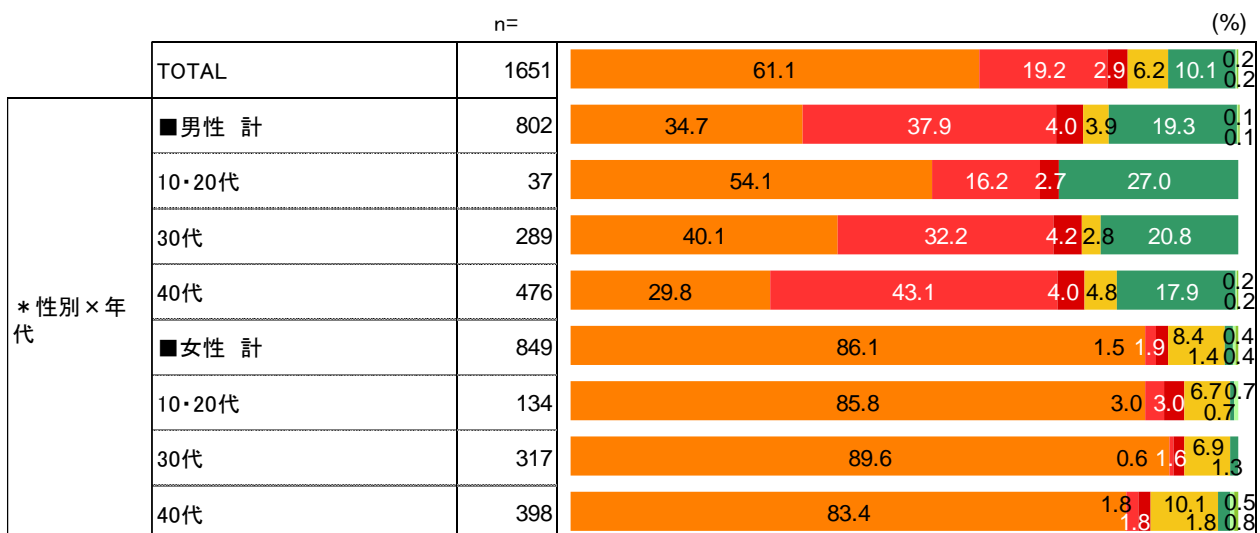
○ あなた自身の状況

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- その他



○ 配偶者の状況（既婚者のみ）

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- その他



性・婚姻状況別にみると、「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した男性は、「正規の社員・職員」（91.0%）が高い。「結婚したことはない」と回答した男性は、「無職・家事」（11.8%）、「パート・アルバイト」（10.7%）が高い。

「現在結婚（事実婚を含む）している」と回答した女性は、「パート・アルバイト」（38.3%）や「無職・家事」（26.4%）が高い。「結婚したことはない」と回答した「正規の社員・職員」は、男性 58.0%、女性 44.8%と高くなっている。

- 正規の社員・職員
- パート・アルバイト
- 派遣・嘱託・契約社員
- 自営業主・家族従業員
- 無職・家事
- 学生
- その他

		n=	(%)							
	TOTAL	3011	55.1	18.9	4.7	4.6	12.7	3.0	0.9	
* 性別 × 婚姻状況	■ 男性 計	1511	76.2		5.8	3.6	5.8	5.8	1.9	0.9
	現在、結婚(事実婚を含む)している	802	91.0				1.4	4.9	1.2	
	結婚していたが、現在は離・死別した	81	71.6		12.3	1.2	6.2	4.9	1.2	2.5
	結婚したことはない	628	58.0	10.7	6.5	6.8	11.8	4.5	1.8	
	■ 女性 計	1500	33.9	32.1	5.9	3.5	19.5	4.1	1.0	
	現在、結婚(事実婚を含む)している	849	24.9	38.3	5.7	3.3	26.4	0.4	1.2	
	結婚していたが、現在は離・死別した	115	49.6	33.0	6.1	2.6	7.8	0.9		
	結婚したことはない	536	44.8	22.2	6.3	3.9	11.2	10.8	0.7	

(5) 出産や子育てに関する意識と現状

問13 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

＜既婚者の場合＞

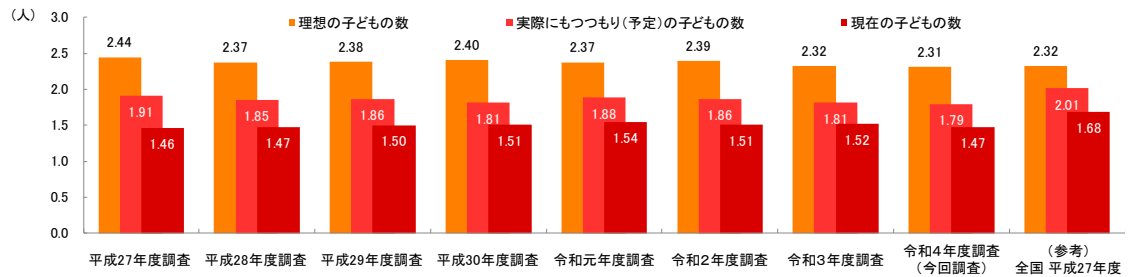
現在の子どもの数は、1人が24.4%、2人が36.9%、3人が13.4%、平均すると1.47人である。0人の割合は2割強（23.4%）となっている。

理想の子どもの数は、1人が4.8%、2人が48.2%、3人が33.9%、平均すると2.31人である。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、理想の数より3人の割合が低くなる一方、1人の割合が高く、1人が18.8%、2人が46.8%、3人が18.4%、平均すると1.79人である。

	n=	0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)	平均値
現在の子どもの数	1651	23.4	24.4	36.9	13.4	1.6	0.4		1.47
理想の子どもの数	1651	6.7	4.8	48.2	33.9	4.4	2.1		2.31
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	1651	13.3	18.8	46.8	18.4	2.0	0.6		1.79

なお、平成27～令和4年度調査（今回調査）までの経年変化は以下のとおりである。平成27年度調査から概ね同程度で推移している。



	平成27年度調査	平成28年度調査	平成29年度調査	平成30年度調査	令和元年度調査	令和2年度調査	令和3年度調査	令和4年度調査(今回調査)	(参考) 全国平成27年度
理想の子どもの数	2.44	2.37	2.38	2.40	2.37	2.39	2.32	2.31	2.32
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	1.91	1.85	1.86	1.81	1.88	1.86	1.81	1.79	2.01
現在の子どもの数	1.46	1.47	1.50	1.51	1.54	1.51	1.52	1.47	1.68

※全国値は「第15回出生動向基本調査（結婚と出産に関する全国調査）」（国立社会保障・人口問題研究所）より出典

既婚者の性・年代別にみた現在の子ども数、理想の子ども数、実際に持つつもり（予定）の子ども数は、以下のとおりである。

① - 1 性・年代別

		n=	(%)					平均値	
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	
現在の子ども数	■男性 計	802	22.2	24.8	38.4	13.2	1.1	0.2	1.47
	10・20代	37	37.8	35.1	21.6	5.4			0.95
	30代	289	20.8	30.1	34.6	12.5	1.7	0.3	1.45
	40代	476	21.8	20.8	42.0	14.3	0.8	0.2	1.52
	■女性 計	849	24.5	24.0	35.5	13.5	2.0	0.5	1.46
	10・20代	134	37.3	39.6	19.4	3.7			0.90
	30代	317	22.4	23.0	36.6	14.8	2.5	0.6	1.54
	40代	398	21.9	19.6	39.9	15.8	2.3	0.5	1.59
理想の子ども数	■男性 計	802	6.1	5.2	50.4	33.5	2.6	2.1	2.28
	10・20代	37	5.4	8.1	37.8	45.9	2.7		2.35
	30代	289	3.1	4.8	49.8	36.0	4.2	2.1	2.42
	40代	476	8.0	5.3	51.7	31.1	1.9	2.1	2.20
	■女性 計	849	7.2	4.5	46.2	34.2	6.0	2.0	2.34
	10・20代	134	2.2	3.0	49.3	36.6	5.2	3.7	2.51
	30代	317	6.0	2.8	45.7	34.4	8.8	2.2	2.44
	40代	398	9.8	6.3	45.5	33.2	4.0	1.3	2.20
実際に持つつもり(予定)の子ども数	■男性 計	802	12.7	19.5	48.3	17.7	1.4	0.5	1.77
	10・20代	37	2.7	13.5	59.5	24.3			2.05
	30代	289	6.9	17.3	51.9	21.1	2.1	0.7	1.96
	40代	476	17.0	21.2	45.2	15.1	1.1	0.4	1.63
	■女性 計	849	13.9	18.3	45.5	19.1	2.6	0.7	1.81
	10・20代	134	8.2	17.9	51.5	20.9	1.5		1.90
	30代	317	9.8	15.8	49.5	20.8	3.2	0.9	1.95
	40代	398	19.1	20.4	40.2	17.1	2.5	0.8	1.66

既婚者の夫婦の働き方別にみると、現在の子ども数は、共働き家庭（正規社員・職員と非正規雇用）では平均 1.64 人と多く、共働き家庭（どちらも正規社員・職員）では平均 1.28 人と少ない。

①-2 夫婦の働き方別

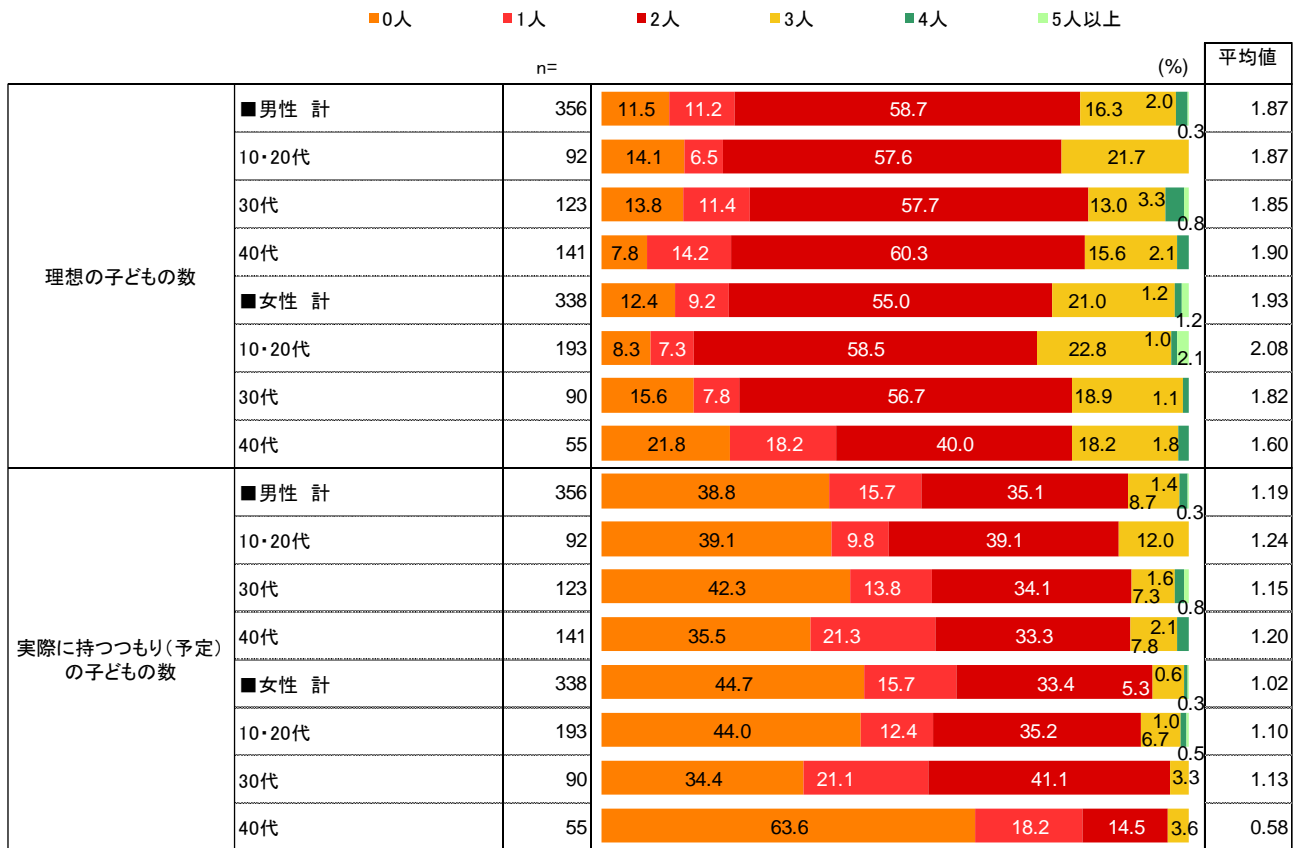
		n=	n (%)					平均値	
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	
現在の子ども数	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	443	29.6	25.5	33.2	10.8	0.9		1.28
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	653	16.8	22.7	42.3	16.5	1.5	0.2	1.64
	共働き家庭(その他)	143	23.1	23.1	35.0	15.4	2.8	0.7	1.54
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	348	25.3	27.3	34.5	10.1	1.7	1.1	1.39
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	38	39.5	18.4	21.1	15.8	5.3		1.29
	その他	26	34.6	26.9	30.8	7.7			1.12
	理想の子ども数	共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	443	5.2	4.3	51.7	32.7	4.1	2.0
共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)		653	4.7	4.9	49.2	34.6	5.2	1.4	2.35
共働き家庭(その他)		143	8.4	4.2	41.3	39.2	3.5	3.5	2.36
正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭		348	9.5	4.9	46.3	33.3	3.2	2.9	2.25
非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭		38	13.2	10.5	36.8	28.9	7.9	2.6	2.16
その他		26	23.1	7.7	46.2	19.2	3.8		1.73
実際に持つつもり(予定)の子ども数		共働き家庭(どちらも正規社員・職員)	443	13.3	16.3	50.1	18.3	1.8	0.2
	共働き家庭(正規社員・職員と非正規雇用)	653	9.6	20.8	48.1	19.6	1.7	0.2	1.83
	共働き家庭(その他)	143	18.9	16.8	40.6	19.6	2.8	1.4	1.76
	正規社員・職員と専業主婦(夫)の家庭	348	15.8	18.7	45.1	17.0	2.0	1.4	1.75
	非正規雇用または自営業と専業主婦(夫)の家庭	38	21.1	21.1	31.6	18.4	5.3	2.6	1.74
	その他	26	30.8	23.1	38.5	3.8	3.8		1.27

＜独身者のうち結婚予定・意向がある者の場合＞

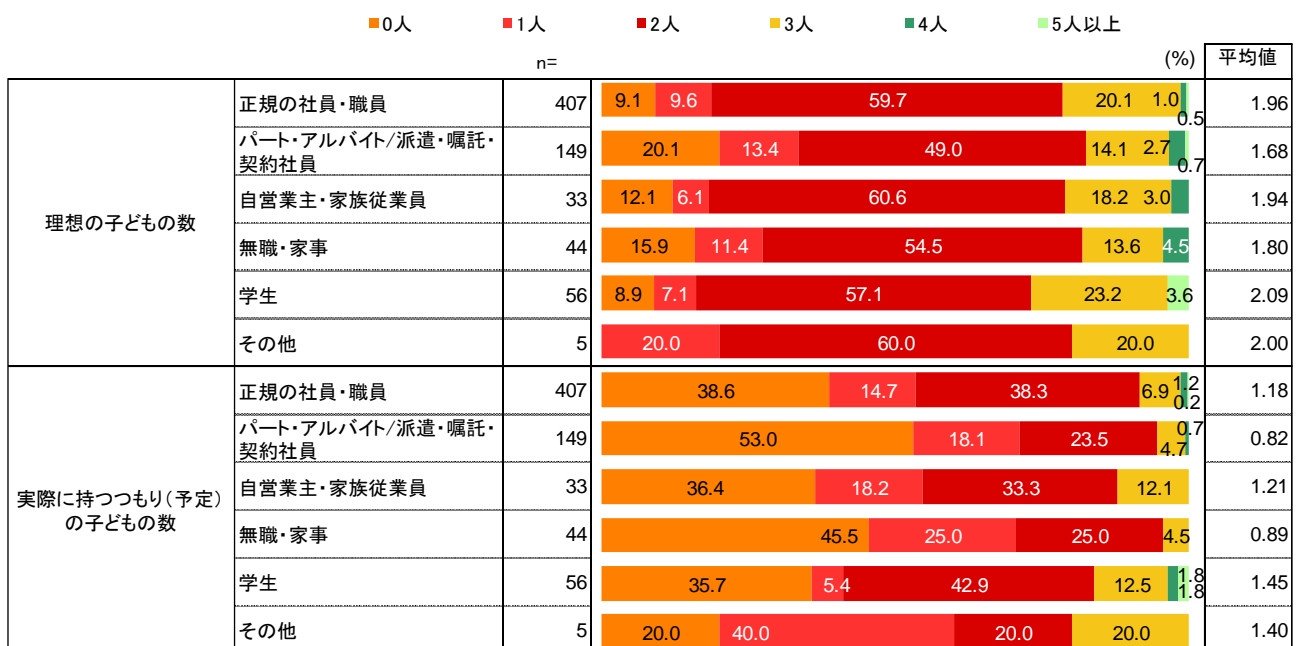
独身者のうち結婚予定・意向がある者を性・年代別にみると、いずれの年代でも理想の子どもの数は2人の割合が高い一方、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は0人の割合が既婚者に比べ高い。

雇用形態別にみると、パート・アルバイト／派遣・嘱託・契約社員では、理想の子どもの数は平均1.68人であるのに対し、実際に持つつもり（予定）の子どもの数は平均0.82人と少なくなっている。

②-1 性・年代別



②-2 雇用形態別



＜女性 18-34 歳の場合＞（希望出生率の算出根拠）

理想の子どもの数は、希望出生率の算出根拠となる「女性 18-34 歳」では、2 人が 58.8%、3 人が 23.3%、平均 2.06 人であった。

実際に持つつもり（予定）の子どもの数は、0 人が 41.3%、1 人が 14.2%、2 人が 36.7%、平均 1.13 人であった。

0人 1人 2人 3人 4人 5人以上

		n=	理想の子どもの数					平均値	
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)
女性18-34歳	理想の子どもの数	240	8.8	6.7	58.8	23.3	0.8	1.7	2.06
	実際に持つつもり(予定)の子どもの数	240	41.3	14.2	36.7	0.8	6.7	0.4	1.13

※既婚者、独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く。

＜子どもが1人以上いる者の場合＞

親からの子育て支援の状況別にみると、いずれかの親から子育ての手助けが「日常的・ひんぱんにあった」人は、理想の子どもの数、実際に持つつもり（予定）の子どもの数ともに3人以上の割合がやや高いが、親からの子育て支援の状況では大きな差はみられない。

子どもが3歳になるまでの期間における親との同居有無別にみると、「同居していた」人は、理想の子どもの数が3人以上の割合がやや高いが、理想の子どもの数・実際に持つつもり（予定）の子どもの数ともに、親との同居有無では大きな差はみられない。

②-1 親からの子育て支援の状況別

0人 1人 2人 3人 4人 5人以上

		n=	理想の子どもの数					平均値	
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)
理想の子どもの数	子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった	766	4.3	45.6	42.4	5.2	2.5	2.57	
	子育ての手助けがときどきあった	454	5.5	48.9	38.5	4.2	2.9	2.51	
	子育ての手助けがほとんどなかった	189	6.9	47.1	35.4	7.4	3.2	2.54	
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった	766	21.3	51.6	23.4	2.7	1.0	2.11	
	子育ての手助けがときどきあった	454	17.6	58.6	22.0	1.3	0.4	2.08	
	子育ての手助けがほとんどなかった	189	27.0	47.6	19.6	4.8	1.1	2.06	

※親からの子育て支援は、問 18 の回答をもとに分類した。いずれかの親から「日常的にあった」または「ひんぱんにあった」場合には「子育ての手助けが日常的・ひんぱんにあった」、いずれかの親から「ときどきあった」場合には「子育ての手助けがときどきあった」、いずれの親からも「ほとんどなかった」、または親が「いなかった」「わからない」場合には「子育ての手助けがほとんどなかった」としている。

③-2 親との同居有無別

0人 1人 2人 3人 4人 5人以上

		n=	理想の子どもの数					平均値	
			0人	1人	2人	3人	4人	5人以上	(%)
理想の子どもの数	同居していた	367	6.0	40.9	47.1	4.1	1.9	2.55	
	誰とも同居していなかった	1042	4.7	48.9	37.8	5.6	3.0	2.55	
実際に持つつもり(予定)の子どもの数	同居していた	367	23.2	50.1	24.3	1.6	0.8	2.07	
	誰とも同居していなかった	1042	20.1	54.4	21.8	2.9	0.9	2.10	

※親との同居の有無は、問 17 の回答をもとに分類した。いずれかの親と同居していた場合には「同居していた」、いずれの親とも同居していなかった場合には「誰とも同居していなかった」、または親が「いなかった」「わからない」場合には「誰とも同居していなかった」としている。

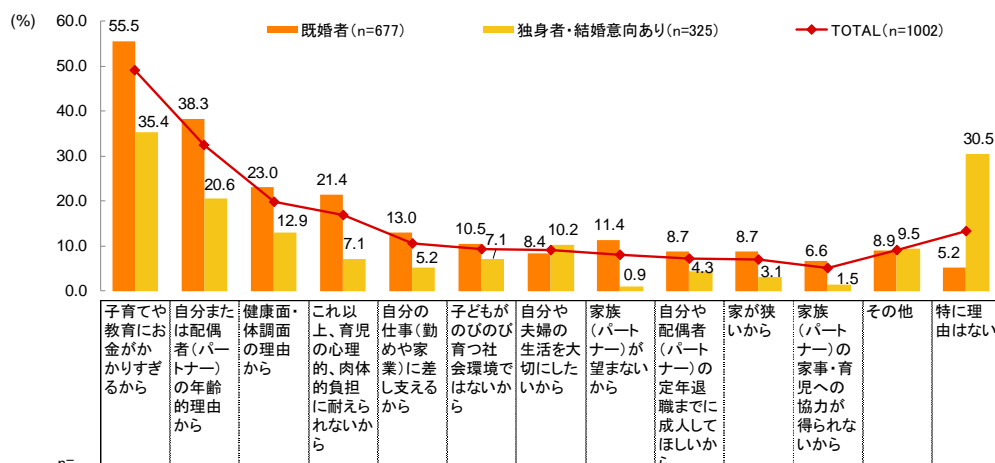
問14 持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。(回答はいくつでも)

【既婚者または独身者のうち結婚予定・意向がある者で、問13で「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない人数を回答した者】

実際に持つつもり(予定)の子どもの数が理想の子どもの数よりも少ない理由としては、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(49.0%)が最も高い。次いで、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(32.5%)、「健康面・体調面の理由から」(19.8%)と続く。

既婚者についてみると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」(55.5%)、「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(38.3%)、「健康面・体調面の理由から」(23.0%)、「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(21.4%)等の上位の理由は、いずれも全体でみた場合よりも高くなっている。

独身で結婚意向がある者についてみると、既婚者に比べ経済的・年齢的な理由を挙げる割合は低い。一方、「特に理由はない」(30.5%)は既婚者に比べて高くなっている。



		n=													
		TOTAL	子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家族(パートナー)が望まないから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに入社してほしいから	家が狭いから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	その他	特に理由はない
* 婚姻状況	TOTAL	1002	49.0	32.5	19.8	16.8	10.5	9.4	9.0	8.0	7.3	6.9	5.0	9.1	13.4
	既婚者	677	55.5	38.3	23.0	21.4	13.0	10.5	8.4	11.4	8.7	8.7	6.6	8.9	5.2
	独身者・結婚意向あり	325	35.4	20.6	12.9	7.1	5.2	7.1	10.2	0.9	4.3	3.1	1.5	9.5	30.5

※グラフはTOTALの順でソート

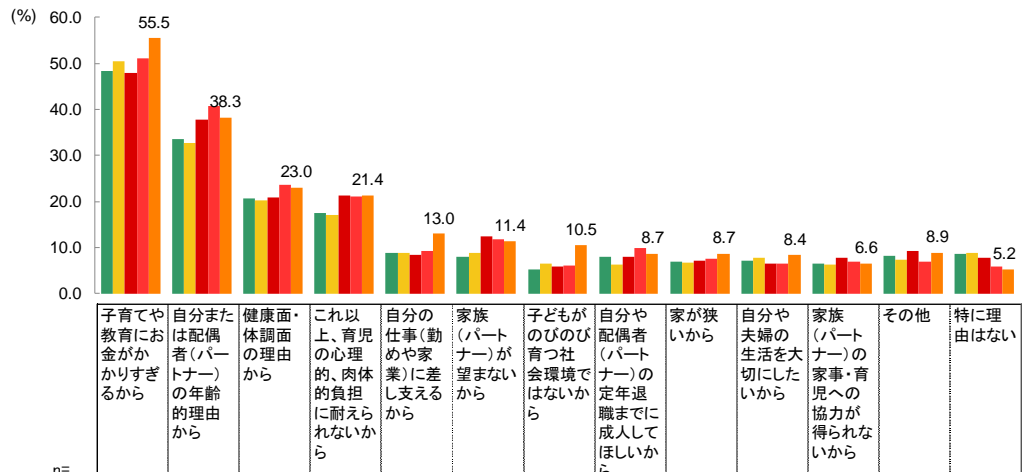


既婚者の回答について5年間の推移を比較すると、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、「自分の仕事（勤めや家業）に差し支えるから」、「子どもがのびのび育つ社会環境ではないから」という理由は増加傾向がみられる。

年代別に5年間の推移をみると、10・20代と40代では「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」、30代と40代では「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」という理由はやや増加傾向がみられる。

### <既婚者の場合>

■平成30年度調査(n=828) ■令和元年度調査(n=729) ■令和2年度調査(n=771) ■令和3年度調査(n=710) ■令和4年度調査(今回調査)(n=677)



	調査年度	n	理由												
			子育てや教育にお金がかかりすぎるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体面からの理由から	これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	家族(パートナー)が望まないから	子どもがのびのび育つ社会環境ではないから	自分や配偶者(パートナー)の定年退職まで成人してほしいから	家が狭いから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	その他	特に理由はない
TOTAL	令和4年度調査(今回調査)	677	55.5	38.3	23.0	21.4	13.0	11.4	10.5	8.7	8.7	8.4	6.6	8.9	5.2
	令和3年度調査	710	51.0	40.8	23.7	21.0	9.3	11.8	6.1	9.9	7.5	6.5	7.0	6.9	5.9
	令和2年度調査	771	47.9	37.7	20.9	21.3	8.3	12.5	5.8	8.0	7.1	6.5	7.7	9.2	7.7
	令和元年度調査	729	50.5	32.8	20.3	17.0	8.8	8.8	6.6	6.2	6.7	7.8	6.3	7.4	8.9
	平成30年度調査	828	48.4	33.6	20.7	17.5	8.8	8.0	5.3	7.9	6.9	7.1	6.6	8.1	8.6
10・20代	令和4年度調査(今回調査)	77	72.7	10.4	16.9	24.7	15.6	6.5	14.3	3.9	11.7	10.4	6.5	7.8	6.5
	令和3年度調査	55	70.9	5.5	10.9	27.3	10.9	7.3	12.7	3.6	9.1	10.9	10.9	9.1	9.1
	令和2年度調査	57	71.9	5.3	10.5	22.8	8.8	14.0	12.3	3.5	17.5	14.0	17.5	5.3	7.0
	令和元年度調査	62	71.0	4.8	14.5	21.0	9.7	8.1	9.7	4.8	12.9	21.0	8.1	3.2	9.7
	平成30年度調査	43	74.4	2.3	2.3	18.6	16.3	2.3	11.6	2.3	11.6	7.0	14.0	11.6	2.3
30代	令和4年度調査(今回調査)	235	67.2	32.3	22.6	22.6	18.3	11.9	14.0	8.1	14.0	10.2	6.8	8.9	3.8
	令和3年度調査	223	70.0	30.9	20.2	21.1	13.5	12.1	8.5	8.5	10.8	9.4	9.0	7.2	3.6
	令和2年度調査	263	59.3	35.0	17.1	27.0	12.5	15.6	6.5	8.0	10.3	8.4	9.9	10.6	5.7
	令和元年度調査	248	62.9	27.8	15.3	22.6	12.5	12.1	7.7	6.0	8.9	8.1	8.9	9.3	7.3
	平成30年度調査	310	58.1	31.6	20.3	21.0	12.6	9.4	7.7	7.4	10.0	7.4	8.4	9.0	6.5
40代	令和4年度調査(今回調査)	365	44.4	47.9	24.7	20.0	9.0	12.1	7.4	10.1	4.7	6.8	6.6	9.0	5.8
	令和3年度調査	432	38.7	50.5	27.1	20.1	6.9	12.3	3.9	11.3	5.6	4.4	5.6	6.5	6.7
	令和2年度調査	451	38.1	43.5	24.4	17.7	5.8	10.4	4.7	8.6	4.0	4.4	5.1	8.9	8.9
	令和元年度調査	419	40.1	39.9	24.1	13.1	6.4	6.9	5.5	6.4	4.5	5.7	4.5	6.9	9.8
	平成30年度調査	475	39.8	37.7	22.5	15.2	5.7	7.6	3.2	8.6	4.4	6.9	4.8	7.2	10.5

※グラフは今回調査の順でソート

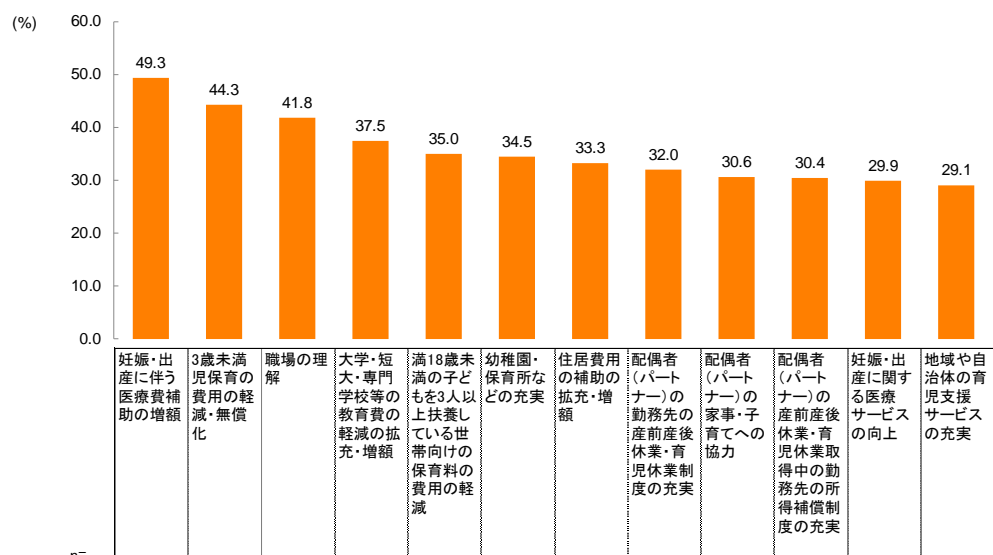
問15 長野県では様々な施策をしていますが、2人、3人と出産し、育てていくためには、今後更にどんなことが必要だと思われますか。(回答はいくつでも)

【既婚者または独身者のうち結婚予定・意向がある者で、問13で「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が「理想の子どもの数」より少ない人数を回答した者】

2人、3人と出産し、育てていくために必要だと思うことは、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(49.3%)が最も高い。次いで、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(44.3%)、「職場の理解」(41.8%)、「大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額」(37.5%)と続く。

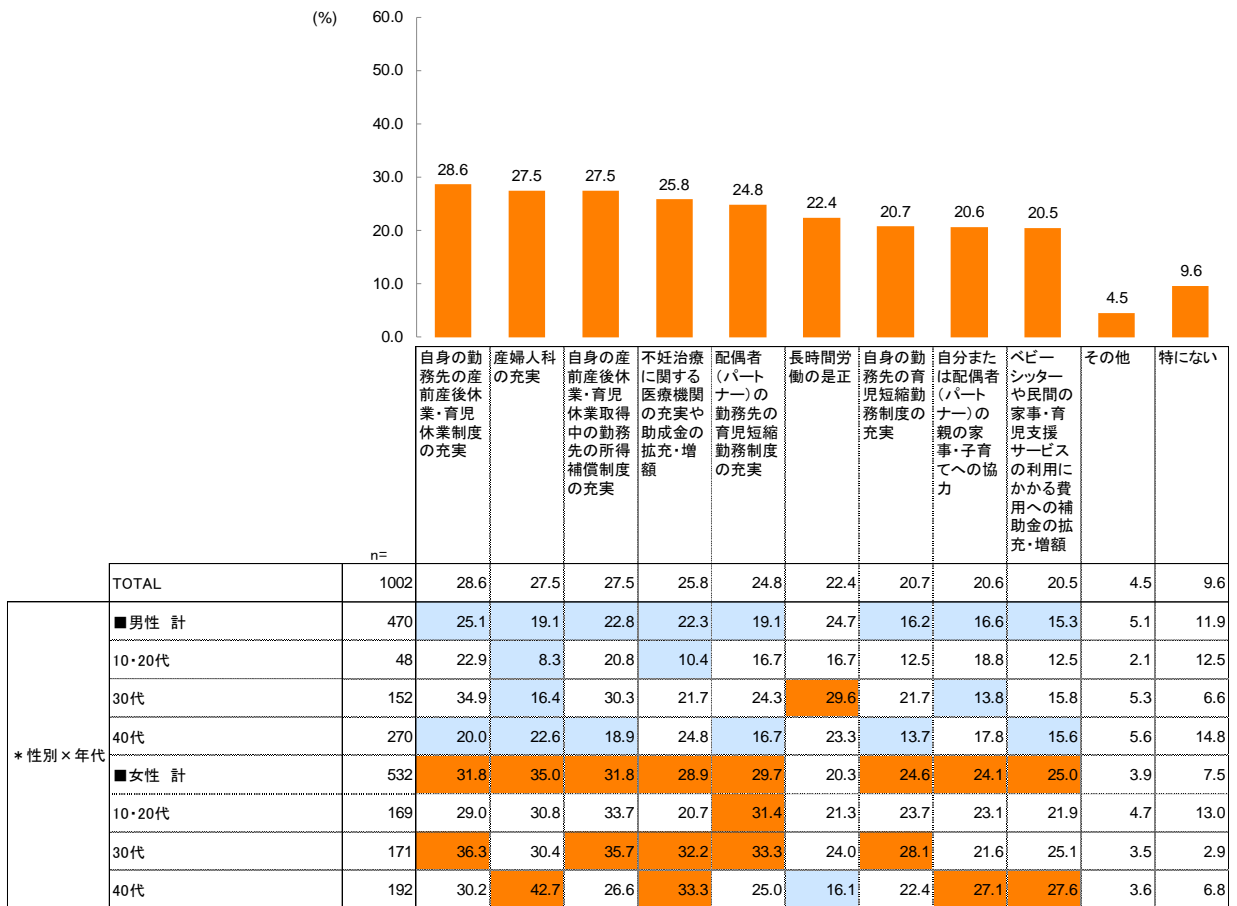
性・年代別にみると、女性のほうが必要だと思うことを多く挙げており、特に「配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力」(男性17.9%、女性41.9%)、「配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実」(男性24.7%、女性38.5%)、「配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業中の勤務先の所得補償制度の充実」(男性25.5%、女性34.8%)となっており、女性のほうが配偶者(パートナー)自身の協力と配偶者(パートナー)の勤務先の制度の充実を望んでいることがうかがえる。

女性30代では「職場の理解」(59.6%)、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(58.5%)が、女性30代~40代では「配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力」(30代44.4%、40代46.4%)が、女性40代では「産婦人科の充実」(42.7%)が高い。男性30代では「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(52.0%)、「住居費用の補助の拡充・増額」(43.4%)、「長時間労働の是正」(29.6%)が高い。



		n=	49.3	44.3	41.8	37.5	35.0	34.5	33.3	32.0	30.6	30.4	29.9	29.1
			妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	3歳未満児保育の費用の軽減・無償化	職場の理解	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額	満18歳未満の子をも3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減	幼稚園・保育所などの充実	住居費用の補助の拡充・増額	配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力	配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	妊娠・出産に関する医療サービスの向上	地域や自治体の育児支援サービスの充実
TOTAL		1002	49.3	44.3	41.8	37.5	35.0	34.5	33.3	32.0	30.6	30.4	29.9	29.1
*性別×年代	■男性 計	470	44.0	40.9	32.3	36.6	35.5	30.0	35.5	24.7	17.9	25.5	27.7	28.3
	10・20代	48	41.7	33.3	35.4	31.3	31.3	22.9	33.3	8.3	14.6	25.0	29.2	25.0
	30代	152	48.7	52.0	38.2	42.8	41.4	32.2	43.4	28.3	14.5	30.9	28.9	30.9
	40代	270	41.9	35.9	28.5	34.1	33.0	30.0	31.5	25.6	20.4	22.6	26.7	27.4
	■女性 計	532	53.9	47.4	50.2	38.3	34.6	38.5	31.4	38.5	41.9	34.8	32.0	29.9
	10・20代	169	56.2	52.1	44.4	37.9	32.5	37.9	33.1	38.5	34.3	33.1	29.6	26.6
	30代	171	58.5	50.3	59.6	36.8	39.8	39.8	33.3	46.8	44.4	42.1	32.2	32.2
	40代	192	47.9	40.6	46.9	40.1	31.8	38.0	28.1	31.3	46.4	29.7	33.9	30.7

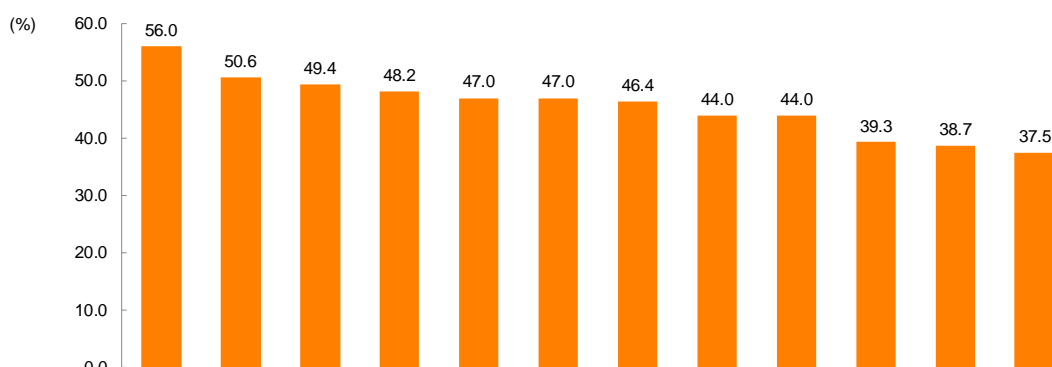
(前表のつづき)



問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(56.0%)が最も高い。次いで、「職場の理解」(50.6%)、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(49.4%)と続く。

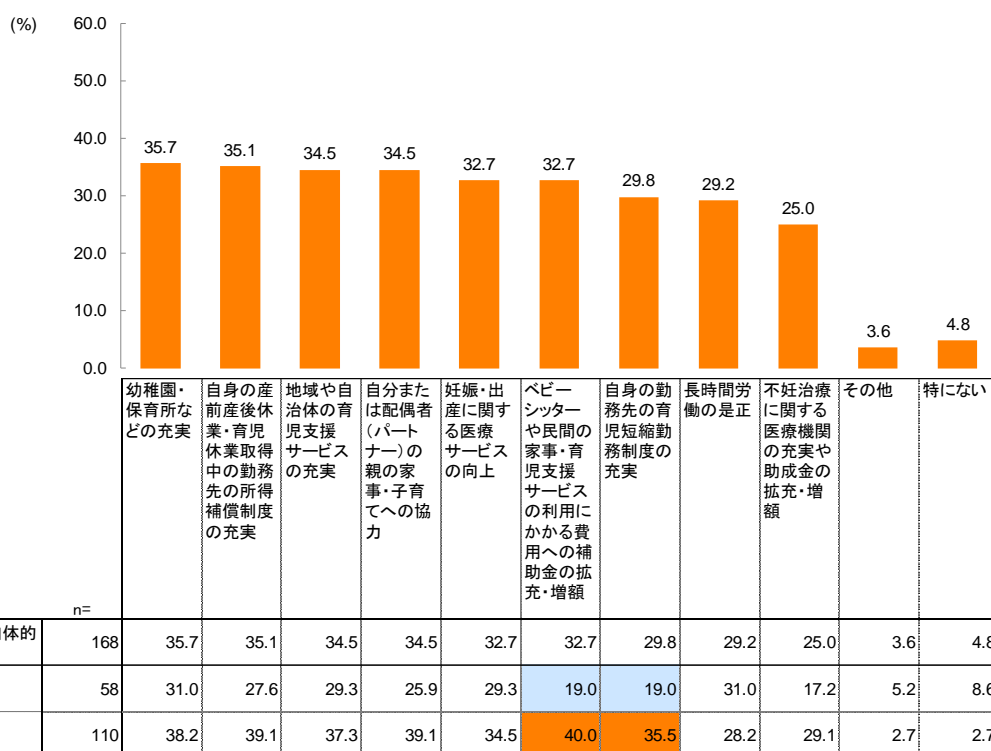
性別にみると、特に「職場の理解」、「配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力」、「配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実」、「配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度の充実」、「自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実」、「産婦人科の充実」、「ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額」、「自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実」は、男性よりも女性のほうが高くなっている。

<問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合>



	n=	3歳未満児保育の費用の軽減・無償化	職場の理解	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額	配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力	配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の軽減	住居費用の補助の拡充・増額	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度の充実	自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	産婦人科の充実
これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	168	56.0	50.6	49.4	48.2	47.0	47.0	46.4	44.0	44.0	39.3	38.7	37.5
男性	58	58.6	34.5	44.8	51.7	24.1	29.3	36.2	48.3	46.6	25.9	25.9	22.4
女性	110	54.5	59.1	51.8	46.4	59.1	56.4	51.8	41.8	42.7	46.4	45.5	45.5

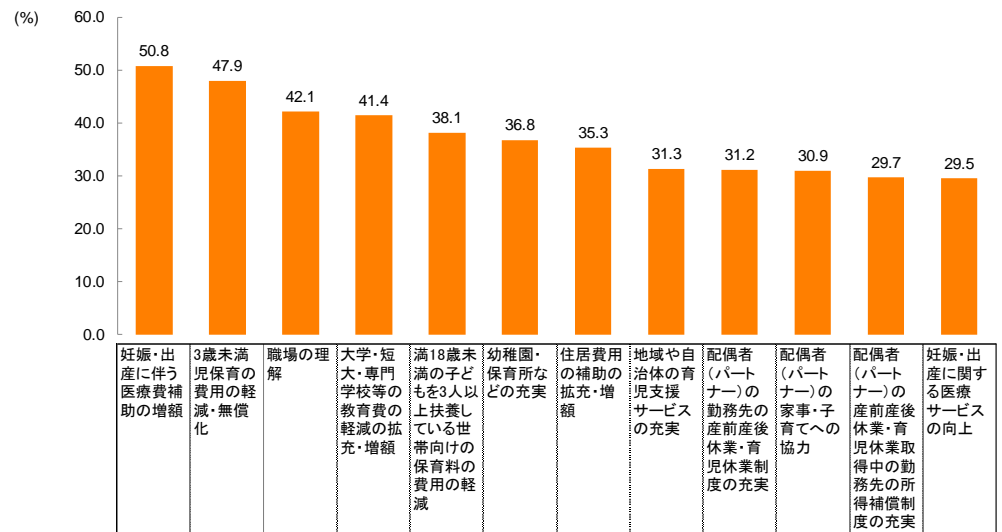
(前表のつづき)



既婚者の場合、「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」(50.8%)が最も高い。次いで、「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(47.9%)、「職場の理解」(42.1%)と続く。

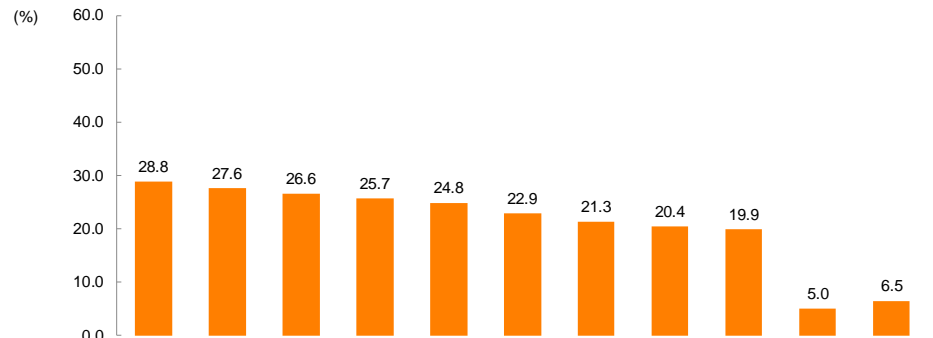
性・年代別にみると、女性10・20代、30代では「妊娠・出産に伴う医療費補助の増額」が高く、6割台となっている(10・20代64.1%、30代60.0%)。女性30代では「職場の理解」(54.6%)、女性40代では「配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力」(46.3%)が高い。男性30代では「3歳未満児保育の費用の軽減・無償化」(61.0%)、「満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減」(50.5%)、「満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減」(50.5%)、「住居費用の補助の拡充・増額」(46.7%)が高く、金銭的な施策が必要と感じていることがうかがえる。また、30代では男女ともに、「自身の勤務先の産前産後休業・育児休業の充実」(男性36.2%、女性35.4%)を挙げている。

<既婚者の場合>



		n=	妊娠・出産に伴う医療費補助の増額	3歳未満児保育の費用の軽減・無償化	職場の理解	大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額	満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減	幼稚園・保育所などの充実	住居費用の補助の拡充・増額	地域や自治体の育児支援サービスの充実	配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力	配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	妊娠・出産に関する医療サービスの向上
TOTAL		677	50.8	47.9	42.1	41.4	38.1	36.8	35.3	31.3	31.2	30.9	29.7	29.5
*性別×年代	■男性計	323	47.1	46.4	34.1	41.8	40.9	34.7	38.4	31.6	24.5	17.3	25.1	27.9
	10・20代	13	61.5	61.5	46.2	46.2	53.8	38.5	53.8	30.8	7.7	7.7	23.1	38.5
	30代	105	51.4	61.0	41.9	48.6	50.5	38.1	46.7	35.2	26.7	12.4	32.4	26.7
	40代	205	43.9	38.0	29.3	38.0	35.1	32.7	33.2	29.8	24.4	20.5	21.5	27.8
	■女性計	354	54.2	49.2	49.4	41.0	35.6	38.7	32.5	31.1	37.3	43.2	33.9	31.1
	10・20代	64	64.1	57.8	45.3	37.5	31.3	40.6	37.5	26.6	37.5	34.4	29.7	28.1
	30代	130	60.0	55.4	54.6	40.8	43.1	40.0	36.9	33.8	47.7	43.8	44.6	33.1
	40代	160	45.6	40.6	46.9	42.5	31.3	36.9	26.9	30.6	28.8	46.3	26.9	30.6

(前表のつづき)



		n=	産婦人科の充実	自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実	不妊治療に関する医療機関の充実や助成金の拡充・増額	自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実	配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度の充実	長時間労働の是正	ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額	自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実	自分または配偶者(パートナー)の親の家事・子育てへの協力	その他	特にない
TOTAL		677	28.8	27.6	26.6	25.7	24.8	22.9	21.3	20.4	19.9	5.0	6.5
*性別×年代	■男性 計	323	21.4	24.1	25.1	20.7	19.5	25.4	14.6	15.5	14.2	5.3	7.7
	10・20代	13	15.4	23.1	15.4	23.1	23.1	23.1	7.7	23.1	15.4	0.0	0.0
	30代	105	16.2	36.2	25.7	29.5	25.7	30.5	15.2	21.0	11.4	4.8	1.9
	40代	205	24.4	18.0	25.4	16.1	16.1	22.9	14.6	12.2	15.6	5.9	11.2
	■女性 計	354	35.6	30.8	28.0	30.2	29.7	20.6	27.4	24.9	25.1	4.8	5.4
	10・20代	64	32.8	25.0	14.1	29.7	32.8	25.0	29.7	25.0	25.0	10.9	6.3
	30代	130	30.0	35.4	31.5	36.9	34.6	26.2	26.9	27.7	23.1	3.8	3.1
	40代	160	41.3	29.4	30.6	25.0	24.4	14.4	26.9	22.5	26.9	3.1	6.9

問16 子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。

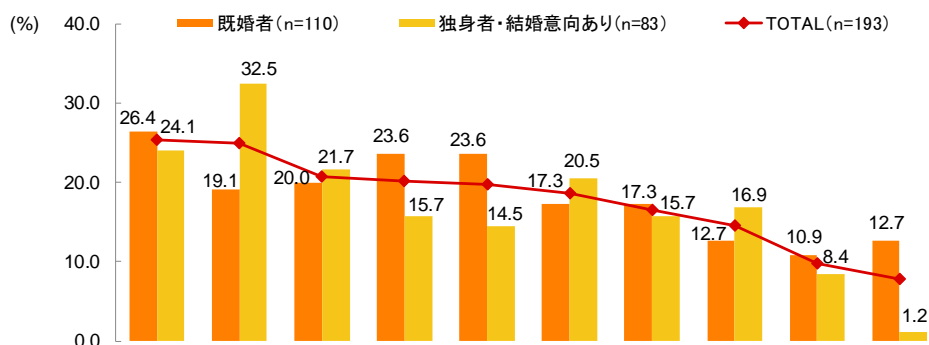
(回答はいくつでも)

【既婚者または独身者のうち結婚予定・意向がある者で、問13で「理想の子どもの数」を0人と回答した者】

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は、「子育てや教育にお金がかかりそうだから」(25.4%)が最も高い。次いで、「子育てができるか自信がないから」(24.9%)、「責任が重いとを感じるから」(20.7%)と続く。

年代別にみると、10・20代では「子育てができるか自信がないから」(38.2%)、30代では「子育てや教育にお金がかかりそうだから」(40.7%)、「責任が重いとを感じるから」(30.5%)、「自分や夫婦の生活を大切にしたいから」(28.8%)、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」(25.4%)、40代では「自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から」(33.0%)、「配偶者(パートナー)が子どもを望まないから」(12.0%)が高い。

婚姻状況別にみると、独身者・結婚意向がある者では、「子育てができるか自信がないから」(32.5%)、「親の介護が心配だから」(10.8%)が高い。

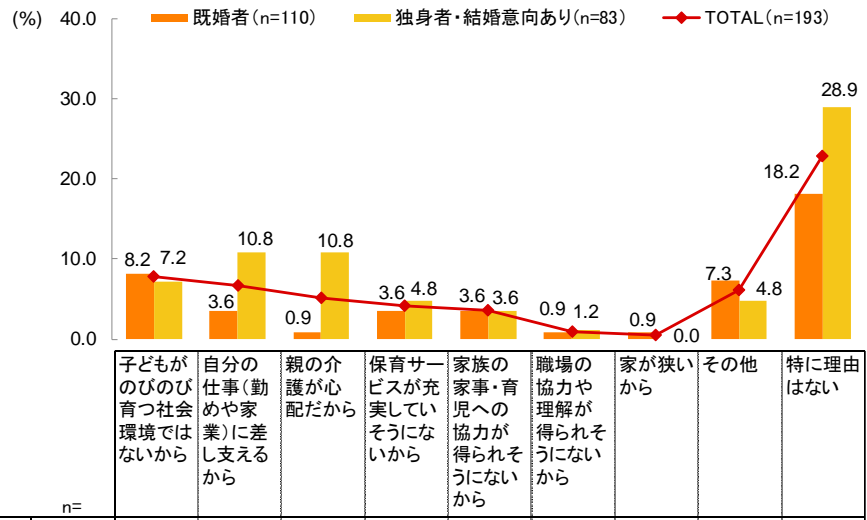


		n=	子育てや教育にお金がかかりそうだから	子育てができるか自信がないから	責任が重いとを感じるから	自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から	健康面・体調面の理由から	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	子どもがいる生活が想像できないから	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから	配偶者(パートナー)が子どもを望まないから
TOTAL		193	25.4	24.9	20.7	20.2	19.7	18.7	16.6	14.5	9.8	7.8
*婚姻状況×年代	10・20代	34	29.4	38.2	23.5	0.0	5.9	17.6	20.6	17.6	8.8	2.9
	30代	59	40.7	30.5	30.5	10.2	25.4	28.8	23.7	25.4	15.3	3.4
	40代	100	15.0	17.0	14.0	33.0	21.0	13.0	11.0	7.0	7.0	12.0
	■既婚者 計	110	26.4	19.1	20.0	23.6	23.6	17.3	17.3	12.7	10.9	12.7
	10・20代	5	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0
	30代	28	50.0	32.1	35.7	7.1	28.6	28.6	35.7	28.6	21.4	7.1
	40代	77	16.9	14.3	14.3	31.2	23.4	13.0	10.4	6.5	6.5	15.6
	■独身者・結婚意向あり 計	83	24.1	32.5	21.7	15.7	14.5	20.5	15.7	16.9	8.4	1.2
	10・20代	29	27.6	41.4	24.1	0.0	6.9	17.2	20.7	17.2	6.9	3.4
	30代	31	32.3	29.0	25.8	12.9	22.6	29.0	12.9	22.6	9.7	0.0
	40代	23	8.7	26.1	13.0	39.1	13.0	13.0	13.0	8.7	8.7	0.0

※グラフはTOTALの順でソート



(前表のつづき)



		n=	子どもののびのび育つ社会環境ではないから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	親の介護が心配だから	保育サービスが充実していないから	家族の家事・育児への協力が得られそうにないから	職場の協力や理解が得られそうにないから	家が狭いから	その他	特に理由はない
TOTAL		193	7.8	6.7	5.2	4.1	3.6	1.0	0.5	6.2	22.8
* 婚姻状況 × 年代	10・20代	34	5.9	11.8	8.8	8.8	0.0	2.9	0.0	2.9	47.1
	30代	59	13.6	11.9	8.5	5.1	8.5	1.7	1.7	6.8	16.9
	40代	100	5.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0	0.0	7.0	18.0
	■既婚者 計	110	8.2	3.6	0.9	3.6	3.6	0.9	0.9	7.3	18.2
	10・20代	5	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0
	30代	28	14.3	7.1	3.6	3.6	7.1	3.6	3.6	10.7	7.1
	40代	77	5.2	2.6	0.0	2.6	2.6	0.0	0.0	6.5	19.5
	■独身者・結婚意向あり 計	83	7.2	10.8	10.8	4.8	3.6	1.2	0.0	4.8	28.9
	10・20代	29	3.4	13.8	10.3	6.9	0.0	3.4	0.0	3.4	44.8
	30代	31	12.9	16.1	12.9	6.5	9.7	0.0	0.0	3.2	25.8
	40代	23	4.3	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	8.7	13.0

問17 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親と同居していましたか。  
 (回答はそれぞれ1つ) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

男親の親と同居していた者は1割を超えており（父親：13.0%、母親：14.1%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割を超えている（父親：33.4%、母親：35.6%）。

女親の親と同居していた者は約1割となっており（父親：10.4%、母親：11.5%）、徒歩で30分程度の別居（近居）は3割を超えている（父親：34.1%、母親：36.3%）。

■同居 ■別居(近居) ■別居(近居以外) ■いなかった ■わからない

	n=	n (%)				
男親の父親	1409	13.0	33.4	33.7	18.3	1.6
男親の母親	1409	14.1	35.6	35.9	12.6	1.8
女親の父親	1409	10.4	34.1	38.3	16.5	0.8
女親の母親	1409	11.5	36.3	41.7	9.7	0.7

※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

問18 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者（パートナー）のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。(回答はそれぞれ1つ)  
 【回答者：親が健在であった者】

女親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」は13.8%で、9割弱（86.3%）は手助けがあったと回答している。男親の母親からは、手助けが「ほとんどなかった」が32.3%であり、女親の父親と似た傾向を示している。一方、男親の父親からは、手助けは「ほとんどなかった」が約半数（45.9%）となっている。

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	n (%)			
男親の父親	1129	45.9	38.8	9.6	5.8
男親の母親	1206	32.3	41.4	16.1	10.2
女親の父親	1166	29.7	45.0	17.0	8.3
女親の母親	1262	13.8	38.7	28.7	18.9

※回答者あるいは回答者の配偶者が男性の場合は「男親」とし、回答者あるいは回答者の配偶者が女性の場合は「女親」として、それぞれの父親、母親について集計を行った。

同居の場合、女親の母親からの手助けは 50.0%が、男親の母親からの手助けは 34.2%が「日常的にあった」としている。

別居（近居）の場合、女親の母親からの手助けは 39.8%が「ひんぱんにあった」としている。また、男親の父親からの手助けは 44.4%、男親の母親からの手助けは 45.3%、女親の父親からの手助けは 43.8%が「ときどきあった」としている。

### ① 同居

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	n (%)			
男親の父親	183	29.0	39.9	12.0	19.1
男親の母親	199	13.1	34.2	18.6	34.2
女親の父親	147	18.4	44.9	17.0	19.7
女親の母親	162	6.2	22.8	21.0	50.0

### ② 別居（近居）

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

	n=	n (%)			
男親の父親	471	35.2	44.4	14.6	5.7
男親の母親	501	20.2	45.3	24.8	9.8
女親の父親	480	22.5	43.8	22.9	10.8
女親の母親	512	5.9	30.5	39.8	23.8

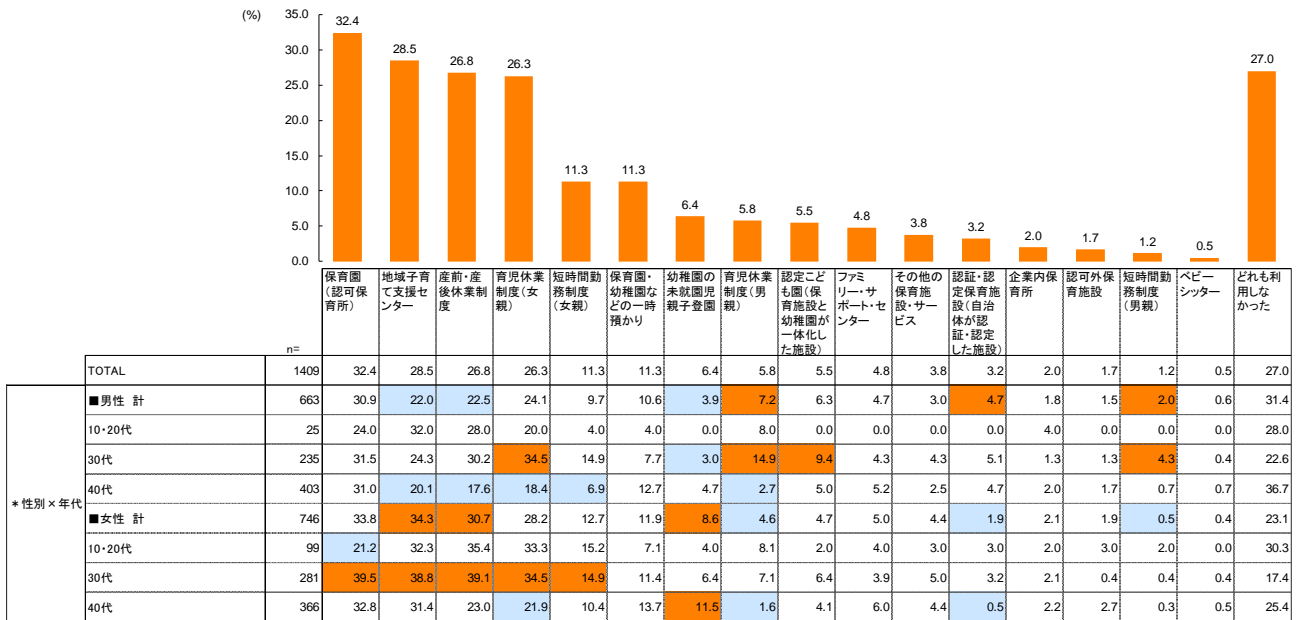
### ③ 別居（近居以外）

■ほとんどなかった ■ときどきあった ■ひんぱんにあった ■日常的にあった

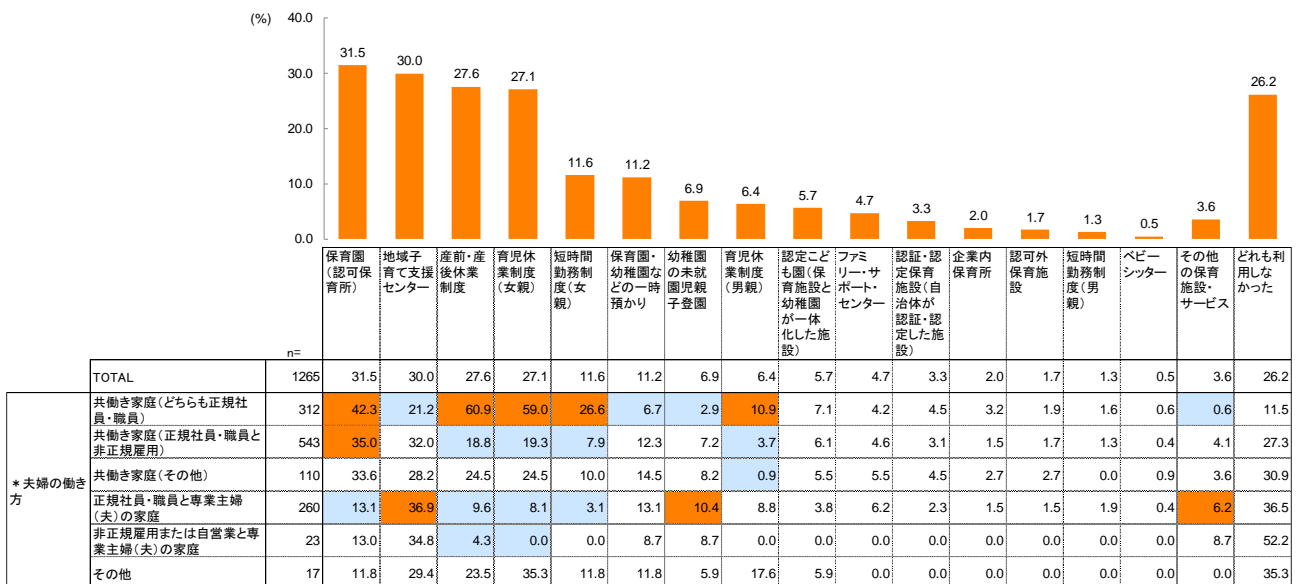
	n=	n (%)			
男親の父親	475	62.9	32.8	3.6	0.6
男親の母親	506	52.0	40.3	6.5	1.2
女親の父親	539	39.1	46.2	11.7	3.0
女親の母親	588	22.8	50.2	21.1	6.0

問19 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも) 【回答者：子どもが1人以上いる者】

利用した制度・施設は「保育園（認可保育所）」(32.4%)が最も高い。次いで、「地域子育て支援センター」(28.5%)、「産前・産後休業制度」(26.8%)と続く。また、「育児休業制度（女親）」は26.3%となっているが、「育児休業制度（男親）」は5.8%にとどまっている。



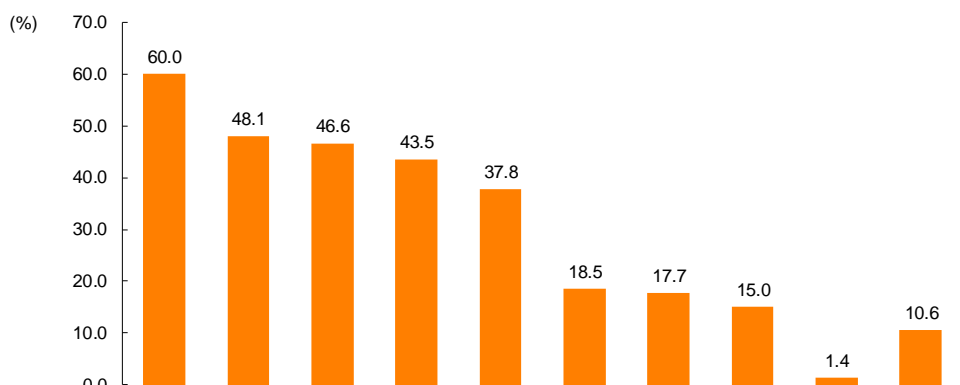
夫婦の働き方別にみると、共働き家庭(どちらも正規社員・職員)では、「産前・産後休業制度」(60.9%)のほか、「育児休業制度（女親）」(59.0%)、「保育園（認可保育所）」(42.3%)が高い。「育児休業制度（男親）」は10.9%と他の働き方に比べて高い。



問20 幼稚園や保育園を利用することなく家庭内で未就学児の子育てをするときに、どんな支援があるとよい（あるとよかった）と思うかお答えください。（回答はいくつでも）  
【回答者：子どもが1人以上いる者】

家庭内で未就学児の子育てをするときにあるとよいと思う支援は、「子どもを安心して遊ばせることができる施設」（60.0%）が最も高い。次いで、「事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援」（48.1%）、「短時間でも子どもを預かってもらえる支援」（46.6%）と続く。

性・年代別にみると、女性30代は「子どもを安心して遊ばせることができる施設」（68.3%）、「事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援」（58.0%）など、多くの項目でほかの性・年代に比べて高くなっている。

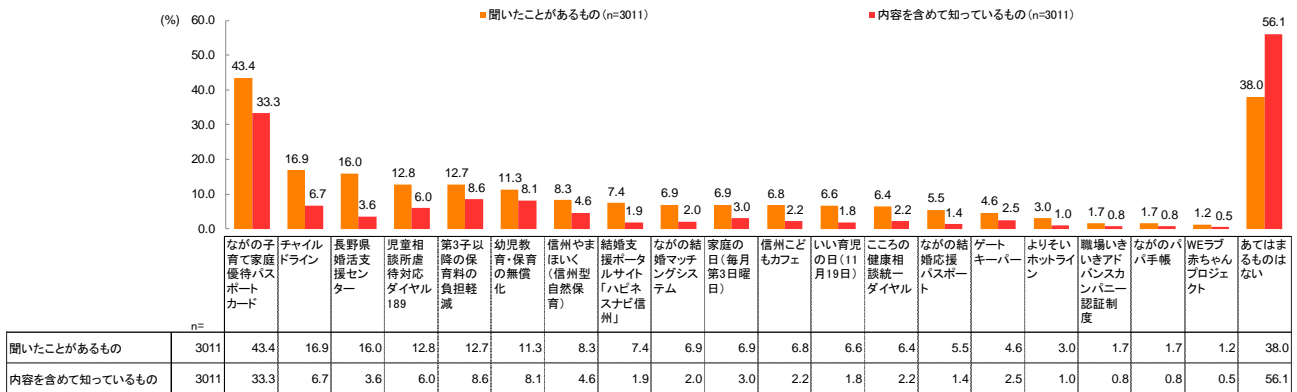


		n=	子どもを安心して遊ばせることができる施設	事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援	短時間でも子どもを預かってもらえる支援	理由を問わずに子どもを預かってもらえる支援	子育てについて気軽に相談できる身近な場所	家事を代わりに行ってもらえる支援	自宅に居ながら気軽に相談できる支援（自宅訪問型等）	自宅でも子どもの世話をしてもらえる支援	その他	特になし
TOTAL		1409	60.0	48.1	46.6	43.5	37.8	18.5	17.7	15.0	1.4	10.6
*性別×年代	■男性 計	663	54.9	41.6	37.3	36.2	30.9	15.4	15.4	11.9	0.9	14.2
	10・20代	25	52.0	28.0	24.0	20.0	24.0	16.0	8.0	8.0	0.0	20.0
	30代	235	56.6	46.0	36.6	38.3	27.2	19.1	17.4	14.5	2.1	12.3
	40代	403	54.1	40.0	38.5	36.0	33.5	13.2	14.6	10.7	0.2	14.9
	■女性 計	746	64.5	53.9	55.0	50.0	44.0	21.2	19.7	17.7	1.9	7.5
	10・20代	99	66.7	48.5	54.5	48.5	35.4	17.2	14.1	17.2	2.0	12.1
	30代	281	68.3	58.0	56.2	54.4	45.6	25.3	22.1	18.5	1.8	4.6
	40代	366	60.9	52.2	54.1	47.0	45.1	19.1	19.4	17.2	1.9	8.5

問21 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

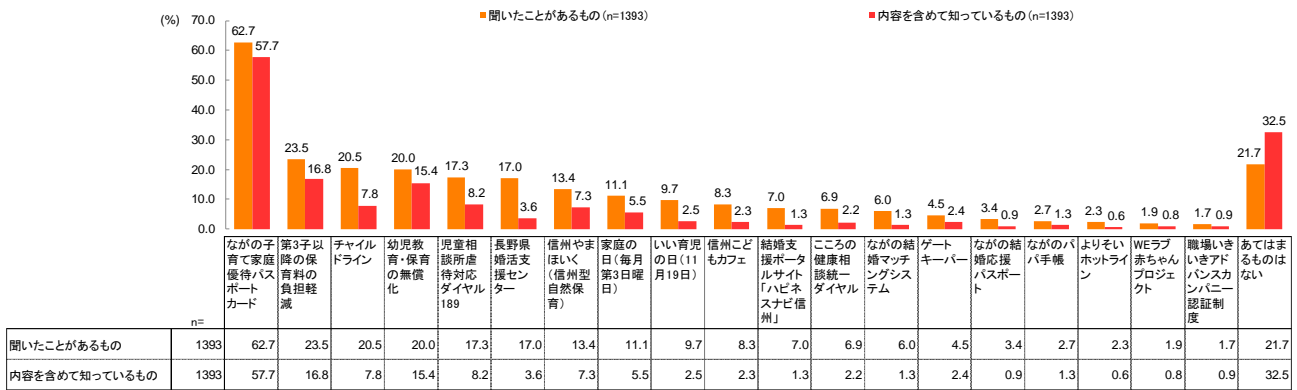
結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、聞いたことがあるものとしては、「ながの子育て家庭優待パスポートカード」(43.4%)が最も高い。次いで、「チャイルドライン」(16.9%)、「長野県婚活支援センター」(16.0%)と続く。

内容を含めて知っているものは、「ながの子育て家庭優待パスポートカード」(33.3%)が最も高い。なお、既婚者・結婚経験者(離・死別者)のうち、子どもがいる者の「ながの子育て家庭優待パスポートカード」を「聞いたことがある」は62.7%、「内容を含めて知っている」は57.7%であった。



※グラフは「聞いたことがあるもの」の順でソート

<既婚者・結婚経験者(離・死別者)のうち、子どもがいる者の場合>

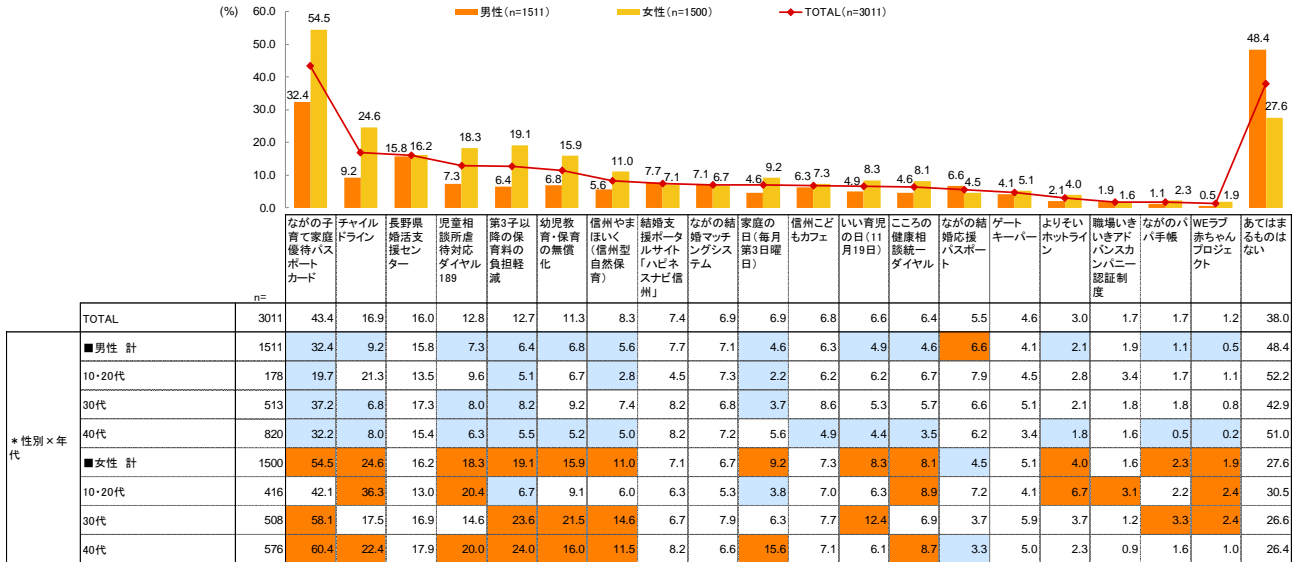


※グラフは「聞いたことがあるもの」の順でソート

性・年代別にみると、聞いたことがあるもの・内容を含めて知っているものともに、女性は男性よりも割合が高い項目が多い。特に、女性 30 代・40 代では「ながの子育て家庭優待パスポートカード」を聞いたことがある・内容を含めて知っている割合が高い。

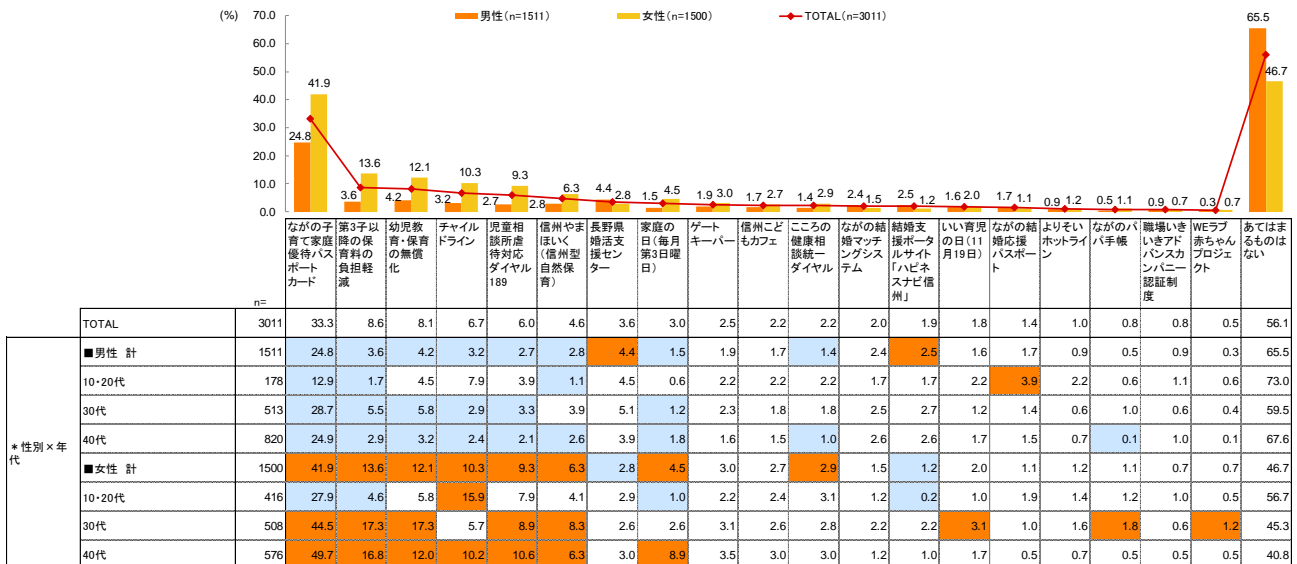
「チャイルドライン」を聞いたことがある割合は、男性 10・20 代では他の項目と比べて 21.3% と高く、女性 10・20 代では 36.3% とほかの性・年代よりも高くなっている。

### ① 聞いたことがあるもの



※グラフはTOTALの順でソート

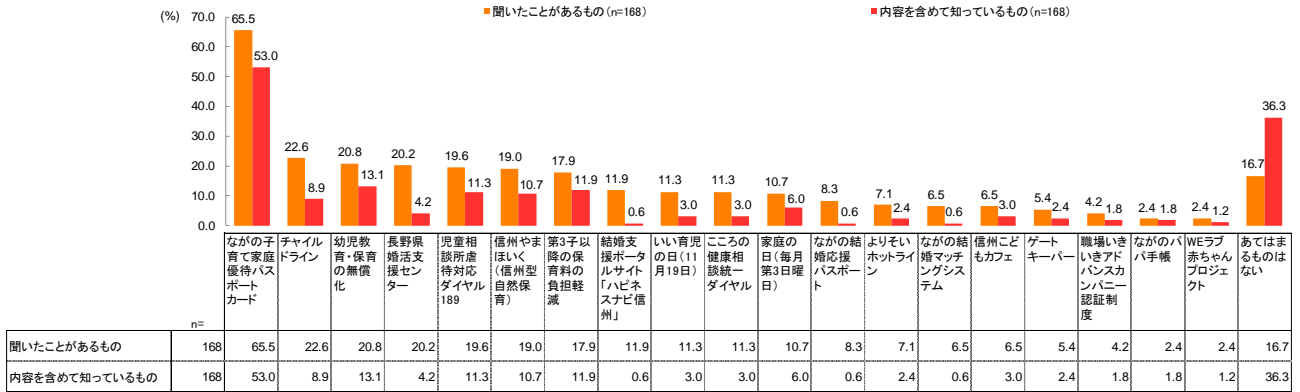
### ② 内容を含めて知っているもの



※グラフはTOTALの順でソート

問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合、聞いたことがあるもの・内容を含めて知っているものともに、「ながの子育て家庭優待パスポートカード」が最も高い。

<問 14 で「これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから」と回答した者の場合>



※グラフは「聞いたことがあるもの」の順でソート

※独身者の「結婚意向なし・わからない」は除く

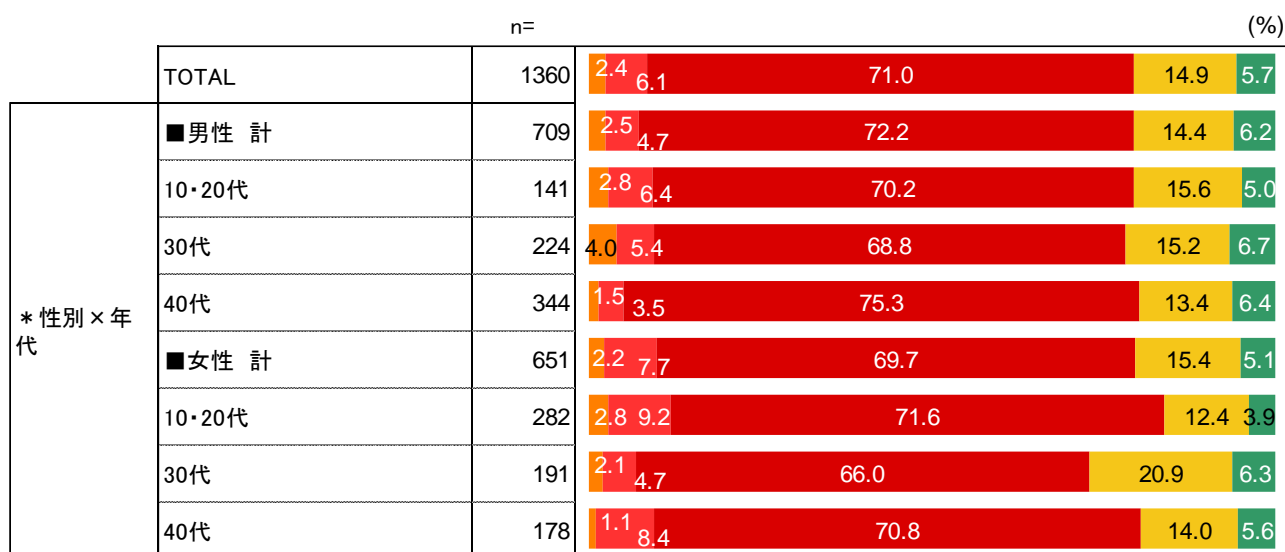


問22 結婚に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ) 【回答者：独身者】

結婚に関する新型コロナウイルス感染症の影響については、「気持ちに影響はない」(71.0%)が高い。一方、「前向きになった」(2.4%)と「やや前向きになった」(6.1%)を合わせると約1割(8.5%)、「やや後ろ向きになった」(14.9%)と「後ろ向きになった」(5.7%)を合わせると約2割(20.6%)となっている。

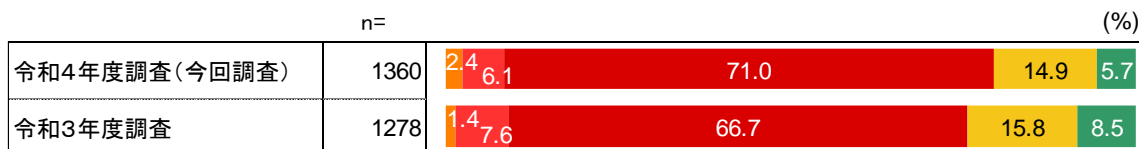
性・年代別にみると、女性30代は「やや後ろ向きになった」(20.9%)と「後ろ向きになった」(6.3%)を合わせると3割弱(27.2%)となっており、ほかの性・年代より高い。

- 前向きになった
- やや前向きになった
- 気持ちに影響はない
- やや後ろ向きになった
- 後ろ向きになった



令和3年度調査と令和4年度調査(今回調査)を比較すると、「やや後ろ向きになった」と「後ろ向きになった」を合わせると、令和3年度(24.3%)より令和4年度(20.6%)のほうが低い。

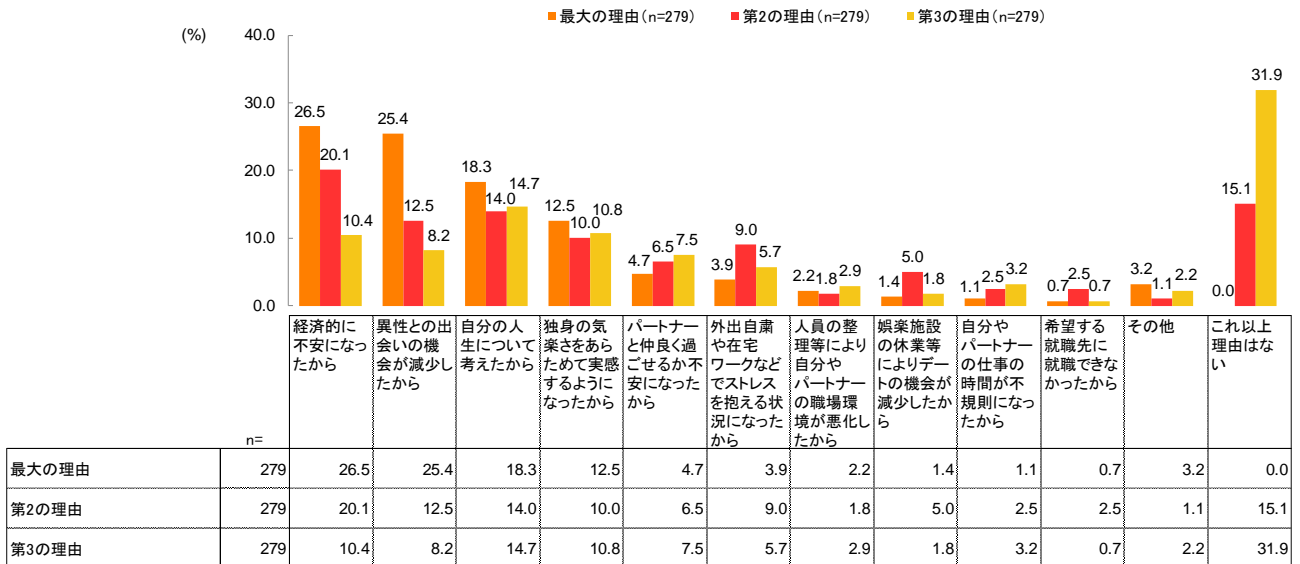
- 前向きになった
- やや前向きになった
- 気持ちに影響はない
- やや後ろ向きになった
- 後ろ向きになった



問23 結婚について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ) 【回答者：結婚に後ろ向きになった者】

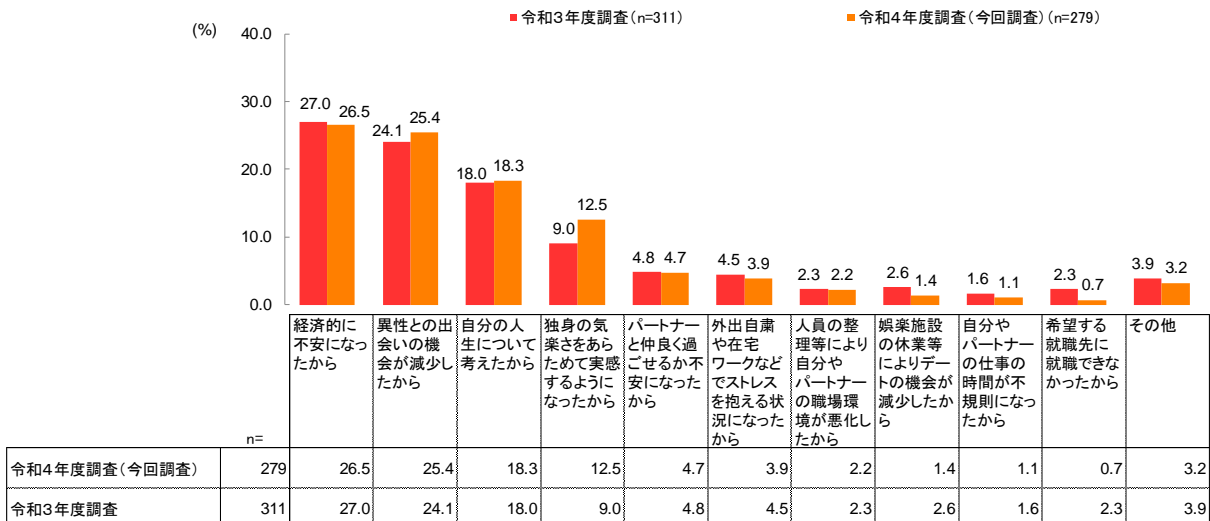
結婚に対する気持ちに影響を与えた最大の理由としては、「経済的に不安になったから」(26.5%)が最も高い。次いで、「異性との出会いの機会が減少したから」(25.4%)、「自分の人生について考えたから」(18.3%)と続く。

第2の理由としては、「経済的に不安になったから」(20.1%)が最も高く、次いで「自分の人生について考えたから」(14.0%)、「異性との出会いの機会が減少したから」(12.5%)となっている。



※グラフは「最大の理由」の順でソート

最大の理由について、令和3年度調査と令和4年度調査(今回調査)を比較すると、「異性との出会いの機会が減少したから」(令和3年度：24.1%、令和4年度：25.4%)は、昨年同様2割を超えている。

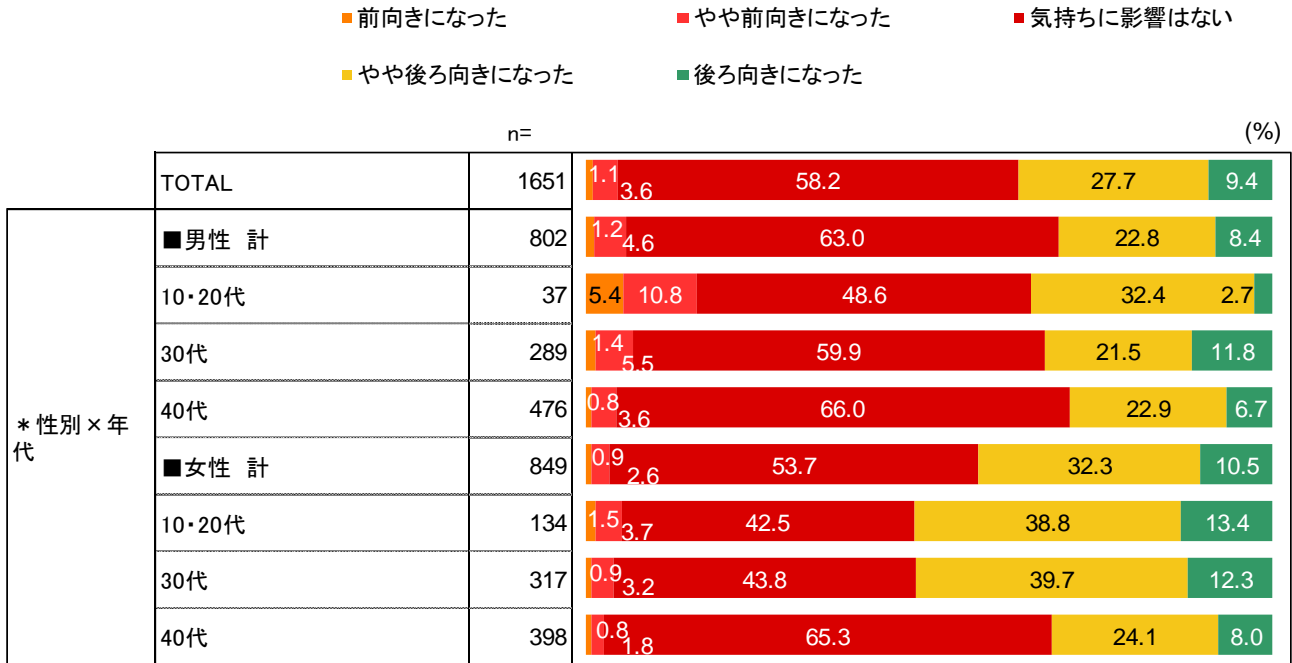


※グラフは今回調査の順でソート

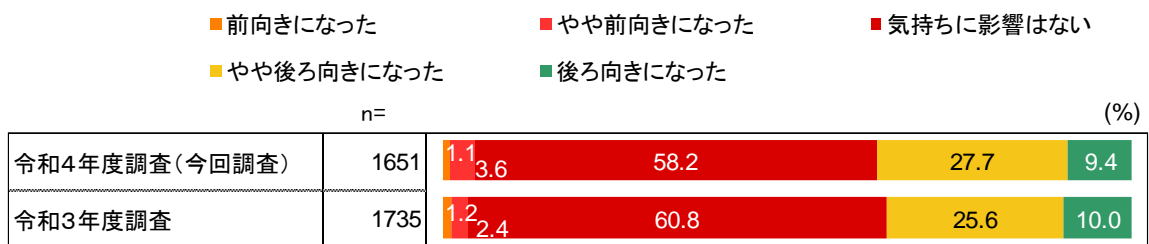
問24 出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ) 【回答者：既婚者】

出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響については、「気持ちに影響はない」(58.2%)が最も高い。一方、「前向きになった」(1.1%)と「やや前向きになった」(3.6%)を合わせると僅かで(4.7%)、「やや後ろ向きになった」(27.7%)と「後ろ向きになった」(9.4%)を合わせると4割弱(37.1%)となっている。

性・年代別にみると、「やや後ろ向きになった」、「後ろ向きになった」は、全年代において、男性よりも女性のほうが高い。



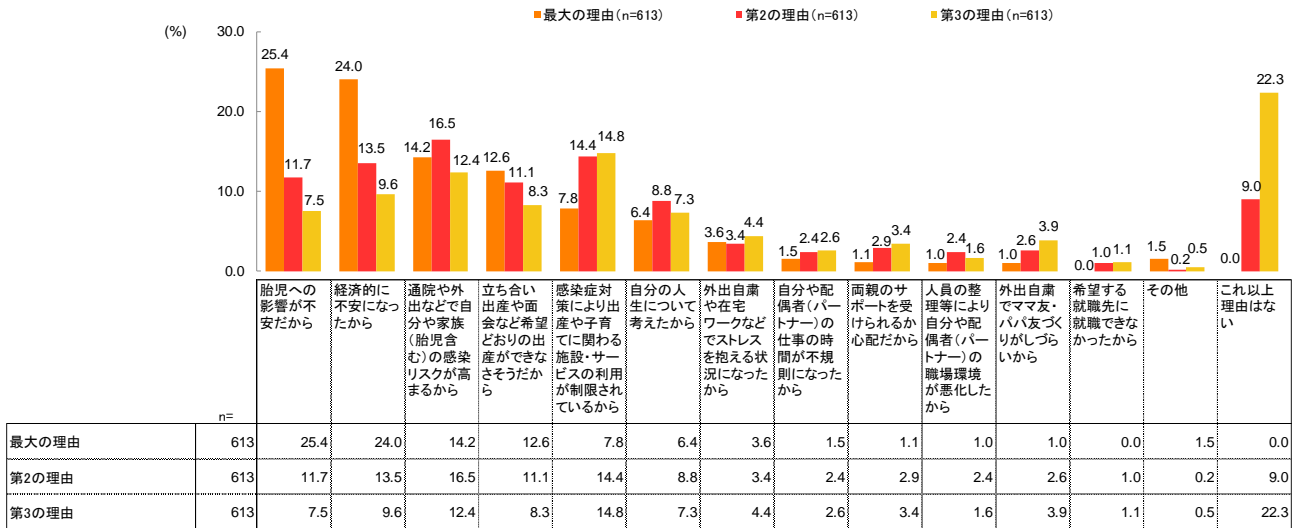
令和3年度調査と令和4年度調査(今回調査)を比較すると、大きな差はみられない。



問25 出産について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答は1つ) 【回答者：出産に後ろ向きになった者】

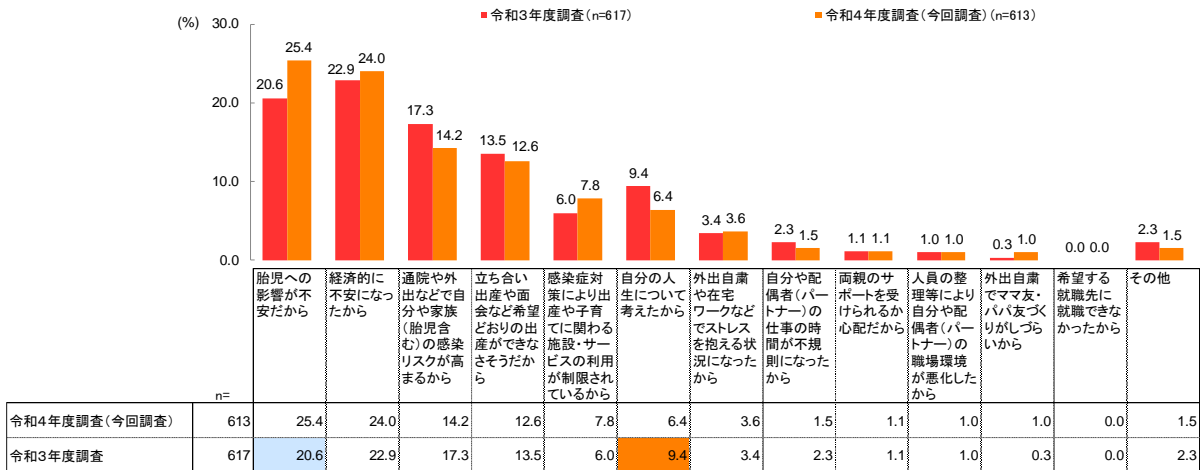
出産に対する気持ちに影響を与えた最大の理由としては、「胎児への影響が不安だから」(25.4%)が最も高い。次いで、「経済的に不安になったから」(24.0%)、「通院や外出などで自分や家族(胎児含む)の感染リスクが高まるから」(14.2%)と続く。

第2の理由としては、「通院や外出などで自分や家族(胎児含む)の感染リスクが高まるから」(16.5%)が最も高い。次いで、「感染症対策により出産や子育てに関わる施設・サービスの利用が制限されているから」(14.4%)、「経済的に不安になったから」(13.5%)と続く。



※グラフは「最大の理由」の順でソート

最大の理由について、令和3年度調査と令和4年度調査(今回調査)を比較すると、「胎児への影響が不安だから」(令和3年度：20.6%、令和4年度：25.4%)、「経済的に不安になったから」(令和3年度：22.9%、令和4年度：24.0%)は、昨年度同様2割を超えている。



※グラフは今回調査の順でソート

**問26 結婚・子育て・若者支援に関して県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。**

結婚・子育て支援や若者支援について自由回答で聞いたところ、数多くの回答が寄せられた。本報告書では紙面の都合上すべてを掲載することはできないが、その一部を紹介することとする。掲載にあたっては、代表的・具体的な内容等を、できる限り原文に近い表記で掲載している。

**【相談・情報に関すること】**

- ・ 結婚や妊娠、出産に関する支援制度をもっと情報発信して欲しい。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 未就学児の保育施設以外の交流環境について、妊娠前から詳しく知っておきたい。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 子どもに関する支援制度の充実と情報発信。（女性 10・20 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 就業支援の情報発信があるといい。災害時の子連れ避難の方法や情報提供が欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 若者支援などあるのはいいが知らなくて利用していない人も多いと思う。発信の仕方を工夫したほうがいい。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 匿名でいつでも相談できるところをもっと近くにあって欲しい。（男性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 子育てや出産に関して、不安な事があった時に、気軽に連絡が出来る場所があるといい。あるとしても、どこに連絡をすれば良いのか分かりづらい。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 結婚から子育てまで、公共の支援や相談窓口など、何があるかをパンフレットなどで配布して欲しい。（女性 40 代、既婚者、子どもはいない）

**【施設や設備に関すること】**

- ・ 保育園に入る前の年齢でもっと遊んだり、預けたりできる施設や、イベントがあると嬉しい。歩く前の乳児が参加できるイベントが少なく、歩ける年の頃も、上の子の行事に参加する際に預けられる場所が欲しい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ こどもカフェが増えてくれるととても嬉しい。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 共働き世帯でなくても、保育園に入れるようにしてほしい。子供に集団生活を学ばせたい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 仕事以外の理由でも、申請をすれば放課後児童センターで子供を預かってもらえるようにしてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 様々な世代との交流の場。雨や雪のときに遊べる室内施設の充実。（女性 10・20 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 勉強スペース。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 公共トイレの男性側にもオムツかえ用のベットの設置。（女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 公共機関を整備、利用しやすいようにしてほしい。車が使えない時大変。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子連れで利用できる娯楽施設を増やしてほしい。子育てパスポートを利用できる店舗を増やしてほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもはいない）

### 【結婚支援全般に関すること】

- ・ 40歳以上でも参加できる街コンとか。（女性 40代、独身者・結婚意向あり、子どもがいる）
- ・ 簡単に料金は安くまわりにわからないようにたくさん、出会いたい。（男性 40代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ コストのかからないお見合いやマッチングの場を作してほしい。同級会レベルの会合をセッティングしてほしい。（男性 10・20代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 健全に出会い、真剣にお付き合い出来る異性とのきっかけが欲しい。（男性 30代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 出会いのイベントを平日休み向けの人向けのも作って欲しい。だいたい土日に開催されるものばかりなので。（男性 30代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 近くに相談できる人がいない。結婚について相談できる施設利用に関してハードルが高く感じる。（男性 10・20代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 全市町村に結婚祝い金の支給。（女性 10・20代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）

### 【出産支援全般に関すること】

- ・ 産婦人科が少ないため、家の近くに産婦人科ができてほしい。さらには産婦人科だけでなく、地域の医療が充実してほしい。（女性 30代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 産婦人科はあっても産めるところが少ない。（女性 10・20代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 出産費用をもう少し負担を軽くしてほしい。今相手が妊娠中で補助だけではまかなえない。（男性 30代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 出産手当金をもう少し増やして欲しい。（女性 10・20代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 出産時に提出する書類を簡略化してほしい。（男性 30代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 高齢出産サポート制度。（男性 40代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 出産育児給付金の増額を早期に実施していただきたい。産休・育休期間が短すぎる。（男性 30代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 出産費用を安くできないか。不妊治療の保険適用の範囲を広げてほしい。（男性 30代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 不妊に対してのトータル（本人の健康支援・経済的支援・精神的支援・世間の理解等）サポート。（女性 40代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 不妊治療の助成を、どの市町村でも、体外受精前の診察から適応出来るようにしてほしい。（女性 30代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 子育てだけでなく、子供が欲しいと思っている人への援助も手厚くしてほしい。（女性 30代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 不妊症だけでなく不育症にも支援が欲しい。（男性 30代、既婚者、子どもはいない）

### 【若者支援全般に関すること】

- ・ 地元に戻って就職すれば返済不要の奨学金を若者支援として設立して欲しい。優秀な人材の流出を防ぐために。（男性 40代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 結婚する人への補助やサービスは多くあるのに、結婚せず働き手として活躍できる若者に対する補助やサービスがない。移住などの補助を始めて若者を呼びたい気持ちがあるのであれば、そこも何かあると魅力的な町に感じるのではないかと思う。（女性 10・20代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 若者同士の交流の場を設けてほしい。結婚を意識とか堅苦しいものでなく、異業種交流会のような気楽な場。（女性 10・20代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）

- ・ 既存大学のキャンパスの誘致。将来魅力ある企業など就職先の誘致。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 大学を県内に増やしてほしい。若者が県外へ出てしまうのは大学が少ないのも原因のひとつだと思います。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 20 代、30 代向けの情報発信を積極的に行ってほしい(SNS など)。（女性 30 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 若い世代に若者支援の政策の情報が十分に届いていない。SNS などから広げて行って欲しい。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）

#### 【仕事と子育ての両立支援に関すること】

- ・ 保育園の空き状況の有無にかかわらず本人の希望による育児休暇の延長。既に登園中のきょうだいがいる場合は上の子が退園しないで育児休暇の延長ができる。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 実家を頼れない、夜勤含むシフト勤務の核家族に対する支援。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 男性が育児に携われるように残業がない職場づくりをまず県自身が率先してやってもらいたい。（男性 40 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 結婚や子育てへの金銭的な補助や職場の育児休暇を女性、男性関係なく取れるような環境への推進。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 男親の育休や育児に対する会社の制度を後押しするような体制作り。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 職場に時短制度がなく義務化してほしい。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 出産を機に退職した人の就職支援。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）

#### 【子育て支援全般に関すること】

- ・ おむつ代などの育児で必要な費用の助成制度を検討して欲しい。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 児童手当の金額を増やして欲しい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 給食費など少しでも安くなると嬉しいです。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子どもに対する補助金額を増やして欲しい。学業でタブレットのレンタルはあるが、Wi-Fi の通信料とか利用料金がかかるため、出費がかさんでいる。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 中学校の部活動での支援が欲しい。教育費に関する支援制度をもっと情報発信して欲しい。（女性 40 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 教育費の充実を一番お金のかかる高校以上も支援してほしい。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 現金給付や割引クーポンなど直接的な支援が一番助かる。（男性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 子どもたちが学び体験できるしくみをもっと工夫してほしい。経済的な理由であきらめるから。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 入園前に、市の「遊びの教室」を利用させていただいたことが、当時とても心の支えになったので、有料でもよいので、多くの方が利用できるようになるとよいと思います。（女性 40 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ シングルで育てている人への支援や制度。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向なし、子どもがいる）
- ・ 育児に伴う家事の支援をしてほしい。（男性 40 代、既婚者、子どもがいる）

## 【その他】

- ・ 結婚や子育て以前に、最低賃金の底上げや出産の際にかかる費用等、お金に関する事をしっかり国も含めて考えるべき。若者の中での収入格差がありすぎる。（女性 30 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 独身者の税金を軽くしてほしい。婚活もお金がかかるので負担になり独身のままになる。（女性 40 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 住民税、所得税を少なくしてほしい。まずはこれが最優先。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 結婚ができるように労働環境を何とかしてほしい。子どもたちのことを考えた政策をしてほしい。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）
- ・ 子供を望まない人への配慮が欲しい。出生率やら妊活やらという言葉に精神的嫌悪感や圧力を感じる人もいます。（男性 40 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 身近に感じられ利用の敷居が低い支援が欲しい。（男性 10・20 代、独身者・結婚意向あり、子どもはいない）
- ・ 保育士や介護士の給与を上げてほしい。（男性 30 代、既婚者、子どもはいない）
- ・ 待機児童（未満児）の改善、また、より質の良い保育のためにも、保育士の待遇の改善をして欲しいです。（女性 30 代、既婚者、子どもがいる）
- ・ 同性婚の認可やパートナーシップ制度の導入など。（女性 10・20 代、独身者・結婚意向なし、子どもはいない）



## 附属資料(調査票)

本調査

### 長野県民の結婚・出産・子育てに関するアンケート

このアンケートは、以前のアンケートで長野県にお住まいとご回答された方を対象にお送りしています。  
このアンケートには、結婚・出産・子育ての状況やお考えをうかがう内容が含まれています。長野県にお住まいの皆様のご意見をおうかがいし、今後の事業に役立てることを目的として行うものです。アンケートの回答はすべて個人が特定できないように処理をしたうえで使用させていただきます。

趣旨をご理解のうえ、ご協力のほど、よろしくお願ひいたします。

アンケートであなたご自身やあなたのご家族についておうかがいする場合があります。

6月1日時点の状況でお答えください。

共通パート

Q 1 あなたの戸籍上の性別をお答えください。(回答は1つ)

1 男性	2 女性
------	------

Q 2 あなたの年齢をお答えください。

<input type="text"/>	歳
----------------------	---

Q 3 あなたがお住まいの地域をお答えください。(回答は1つ)

1	<佐久地域>	小諸市、佐久市、小海町、佐久穂町、川上村、南牧村、南相木村、北相木村、軽井沢町、御代田町、立科町
2	<上小地域>	上田市、東御市、長和町、青木村
3	<諏訪地域>	岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪町、富士見町、原村
4	<上伊那地域>	伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪町、飯島町、南箕輪村、中川村、宮田村
5	<飯伊地域>	飯田市、松川町、高森町、阿南町、阿智村、平谷村、根羽村、下條村、売木村、天龍村、泰阜村、喬木村、豊丘村、大鹿村
6	<木曾地域>	上松町、南木曾町、木曾町、木祖村、王滝村、大桑村
7	<松本地域>	松本市、塩尻市、安曇野市、麻績村、生坂村、山形村、朝日村、筑北村
8	<大北地域>	大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村
9	<長野地域>	長野市、須坂市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、信濃町、飯綱町、小川村
10	<北信地域>	中野市、飯山市、山ノ内町、木島平村、野沢温泉村、栄村
11	この中にはない	

Q 4 あなたの現在の婚姻状況をお答えください。(回答は1つ)

1 現在、結婚(事実婚を含む)している	3 結婚したことはない
2 結婚していたが、現在は離・死別した	

独身者パート <Q4で2、3と回答した人に>

【ここからは「独身の方」に、結婚や現在の生活などについてうかがいます。】

Q5 結婚について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

- |   |              |   |            |
|---|--------------|---|------------|
| 1 | すでに結婚する予定がある | 4 | いずれは結婚したい  |
| 2 | すぐにでも結婚したい   | 5 | 結婚するつもりはない |
| 3 | 2・3年以内に結婚したい | 6 | わからない      |

Q6 (Q5で1～4と回答した人に)

あなたが結婚を考えたとき、次の中ではどのようなことが気になりますか。(回答はいくつでも)

- |    |                        |
|----|------------------------|
| 1  | お金を自由に使えるか             |
| 2  | 職業を自由に選べるか             |
| 3  | 仕事(または学業)の時間を自由に取れるか   |
| 4  | 余暇や遊びの時間を自由に取れるか       |
| 5  | 住む場所が制約されないか           |
| 6  | 自分の生活リズムや生活スタイルを保てるか   |
| 7  | ファッションや食べ物などの好み制約されないか |
| 8  | 相手の両親とうまく付き合えるか        |
| 9  | 自由な人生設計ができるか           |
| 10 | 自分に子育てができるか            |
| 11 | 結婚生活を送るために十分な収入が確保できるか |
| 12 | その他 具体的に:( )           |
| 13 | 特に気になることはない            |

Q7 (Q5で2～5と回答した人に)

あなたが現在独身でいる理由は、次の中から選ぶとすればどれですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

- |    |                              |
|----|------------------------------|
| 1  | 結婚するにはまだ若すぎるから               |
| 2  | 結婚する必要性を感じないから               |
| 3  | 仕事(または学業)に打ち込みたいから           |
| 4  | 仕事(または学業)が忙しく、余裕がないから        |
| 5  | 趣味や娯楽を楽しみたいから                |
| 6  | 独身の自由さや気楽さを失いたくないから          |
| 7  | 適当な相手にまだめぐり会わないから            |
| 8  | 異性とうまく付き合えないから               |
| 9  | 結婚生活を送るには年収が少ない、または結婚資金が足りない |
| 10 | 結婚生活のための住居のめどがたたないから         |
| 11 | 子育てする自信がないから                 |
| 12 | 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から         |
| 13 | 親の面倒を見る(介護をする)必要があるから        |
| 14 | 名字を変えたくないから                  |
| 15 | そもそも結婚願望がないから                |
| 16 | 今の生活で充分幸せだから                 |
| 17 | 家族を養う責任を負いたくないから             |
| 18 | その他 具体的に:( )                 |
| 19 | これ以上理由はない                    |

Q8 (Q7で7と回答した人に)

「適当な相手にまだめぐり合わないから」の具体的な内容のうち、最もあてはまるものを1つお選びください。(回答は1つ)

- 1 そもそも身近に、自分と同世代の未婚者が少ない(いない)ため、出会いの機会がほとんどない
- 2 同世代の未婚者は周囲にいるが、自分が求める条件に見合う相手がいない
- 3 結婚に結びつかないような相手ばかり好きになってしまう
- 4 好きな人はいるが、相手が自分を好きになってくれず、交際に発展しない
- 5 そもそも人を好きになったり、結婚相手として意識することが(ほとんど)ない
- 6 交際に至っても、仕事の都合等で同居の希望がかなわず、結婚することが考えられない
- 7 その他 具体的に:( )
- 8 答えたくない

Q9 (Q5で2~4と回答した人に)

あなたは「婚活」としてどのようなことを行っていますか。あるいは今後行いたいですか。(回答はいくつでも)

- 1 友人、職場の同僚や先輩に頼む
- 2 合コンに参加する
- 3 インターネットサイト・SNSを活用する
- 4 婚活パーティーに参加する
- 5 趣味のサークルに入る
- 6 お見合いをする
- 7 民間の結婚相談所に登録する
- 8 市町村や社会福祉協議会などの公的な結婚相談所に登録する
- 9 その他 具体的に:( )
- 10 特に行っていない・行う予定はない

Q10 (Q9で10と回答した人に)

婚活を「特に行っていない・行う予定はない」とされた理由は何ですか。あてはまるものをお答えください。(回答はいくつでも)

- 1 忙しくて時間がないから
- 2 自然な流れで出会いたいから
- 3 交際相手がいるから
- 4 面倒だから
- 5 そこまでする必要を感じないから
- 6 具体的に何をすればよいかわからないから
- 7 婚活サービスはどんな人が参加しているかわからないから
- 8 婚活サービスは自分が希望する条件に合う相手が見つかると思えないから
- 9 婚活サービスは個人情報の扱いに不安があるから
- 10 婚活サービスは参加料金が安いから
- 11 婚活サービスは日程が合わないから
- 12 その他 具体的に:( )
- 13 答えたくない

**既婚者パート** <Q4で1と回答した人に>

【ここからは「結婚されている方（事実婚を含む）」にうかがいます。】

【あなた方ご夫婦の結婚までの経過についてうかがいます。】

Q11 あなた方ご夫婦はどのようなきっかけで知り合いましたか。(回答は1つ)

1 学校で	8 結婚相談所で
2 職場や仕事の関係で	9 インターネットサイトやSNSで
3 アルバイトで	10 婚活イベントで
4 幼なじみ、隣人関係	11 地域のイベントで
5 学校以外のサークル活動やクラブ活動、習い事で	12 街なかや旅先で
6 友人やきょうだいを通じて	13 その他 具体的に：( )
7 見合いで（親戚や上役などの紹介も含む）	

**共通パート**

【すべての方にうかがいます。】

Q12 あなたのおつとめの状況をお答えください。結婚されている方（事実婚を含む）は、配偶者（パートナー）についてもお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) あなたご自身
- (2) あなたの配偶者（パートナー）

1 正規の社員・職員	5 無職・家事
2 パート・アルバイト	6 学生
3 派遣・嘱託・契約社員	7 その他 具体的に：( )
4 自営業主・家族従業員	

【ここからは、出産や子育てについてうかがいます。】

Q13 お子さんの人数についてうかがいます。以下のそれぞれにあてはまる人数をご記入ください。

※0人の場合は「0」を入力してください。

(1) 現在の子どもの数

 人

※妊娠中の子は含めない

(2) 理想の子どもの数

 人

※出産や子育てのハードルが無いと仮定した場合に欲しい子どもの数（今いる子や妊娠中の子を含む）

(3) 実際に持つつもり（予定）の子どもの数

 人

※今いる子や妊娠中の子を含む

【Q13で、「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q14 (Q4で1と回答した人、またはQ5で1～4と回答した人に)

持つつもりの子どもの数が、理想の子どもの数より少ないのはどうしてですか。あてはまる理由をお答えください。(回答はいくつでも)

- 1 子育てや教育にお金がかかりすぎるから
- 2 家が狭いから
- 3 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから
- 4 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから
- 5 自分や夫婦の生活を大切にしたいから
- 6 自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から
- 7 これ以上、育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
- 8 健康面・体調面の理由から
- 9 家族(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから
- 10 家族(パートナー)が望まないから
- 11 自分や配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから
- 12 その他 具体的に：( )
- 13 特に理由はない

【Q13で、「実際に持つつもり(予定)の子どもの数」が、「理想の子どもの数」より少ない方にうかがいます。】

Q15 (Q4で1と回答した人、またはQ5で1～4と回答した人に)

長野県では様々な施策をしていますが、2人、3人と出産し、育てていくためには、今後更にどんなことが必要だと思われますか。(回答はいくつでも)

※長野県の独自施策として、不妊治療について保険診療と併用可能な先進医療への一部助成、兄弟姉妹の同時入所を要件としない第3子以降の保育料の負担軽減などを実施しています。

- 1 妊娠・出産に伴う医療費補助の増額
- 2 妊娠・出産に関する医療サービスの向上
- 3 産婦人科の充実
- 4 不妊治療に関する医療機関の充実や助成金の拡充・増額
- 5 幼稚園・保育所などの充実
- 6 3歳未満児保育の費用の軽減・無償化
- 7 満18歳未満の子どもを3人以上扶養している世帯向けの保育料の費用の軽減
- 8 地域や自治体の育児支援サービスの充実
- 9 ベビーシッターや民間の家事・育児支援サービスの利用にかかる費用への補助金の拡充・増額
- 10 大学・短大・専門学校等の教育費の軽減の拡充・増額
- 11 住居費用の補助の拡充・増額
- 12 自身の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実
- 13 自身の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実
- 14 自身の勤務先の育児短縮勤務制度の充実
- 15 配偶者(パートナー)の家事・子育てへの協力
- 16 自分または配偶者(パートナー)の親の家事・子育てへの協力
- 17 配偶者(パートナー)の勤務先の産前産後休業・育児休業制度の充実
- 18 配偶者(パートナー)の産前産後休業・育児休業取得中の勤務先の所得補償制度の充実
- 19 配偶者(パートナー)の勤務先の育児短縮勤務制度の充実
- 20 職場の理解
- 21 長時間労働の是正
- 22 その他 具体的に：( )
- 23 特にない

【Q13で、「理想の子どもの数」が0人と回答した方にうかがいます。】

Q16 (Q4で1と回答した人、またはQ5で1～4と回答した人に)

子どもを希望しない理由、子どもを持たないかもしれないと思う理由は何ですか。(回答はいくつでも)

- |    |                           |
|----|---------------------------|
| 1  | 子育てができる自信がないから            |
| 2  | 責任が重いとを感じるから              |
| 3  | 子育てや教育にお金がかかりそうだから        |
| 4  | 保育サービスが充実していそうにないから       |
| 5  | 自分や夫婦の生活を大切にしたいから         |
| 6  | 自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから      |
| 7  | 職場の協力や理解が得られそうにないから       |
| 8  | 子どもがいる生活が想像できないから         |
| 9  | 自分または配偶者(パートナー)が子どもが苦手だから |
| 10 | 配偶者(パートナー)が子どもを望まないから     |
| 11 | 家が狭いから                    |
| 12 | 子どもがのびのび育つ社会環境ではないから      |
| 13 | 自分または配偶者(パートナー)の年齢的理由から   |
| 14 | 健康面・体調面の理由から              |
| 15 | 育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから     |
| 16 | 家庭の家事・育児への協力が得られそうにないから   |
| 17 | 親の介護が心配だから                |
| 18 | その他 具体的に：( )              |
| 19 | 特に理由はない                   |

【お子さんをお持ちのすべての方にうかがいます。】

Q17 お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者(パートナー)のご両親と同居していましたか。

(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	同居	別居(近居)	別居(近居以外)	いなかった	わからない
あなたの父親	1	2	3	4	5
あなたの母親	1	2	3	4	5
配偶者(パートナー)の父親	1	2	3	4	5
配偶者(パートナー)の母親	1	2	3	4	5

※「近居」は徒歩で30分程度の距離とお考えください。

Q18 (Q17 で1～3と回答した人に)

お子さんが3歳になるまでの間、あなたや配偶者(パートナー)のご両親からの子育ての手助けはありましたか。もっともあてはまる状況についてお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在の状況についてお答えください。

	ほとんど なかった	ときどき あった	ひんぱんに あった	日常的に あった
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者(パートナー)の父親	1	2	3	4
配偶者(パートナー)の母親	1	2	3	4

Q19 お子さんが3歳になるまでの間、以下の制度や施設を利用しましたか。あてはまる状況についてお答えください。(回答はいくつでも)

※3歳になるまでの間で、もっともあてはまる状況についてお答えください。

※お子さんが複数いる方は、一番下のお子さんの時のことをお答えください。また、お子さんが3歳未満の場合には、現在までの状況についてお答えください。

1 産前・産後休業制度
2 育児休業制度(男親)
3 育児休業制度(女親)
4 短時間勤務制度(男親)
5 短時間勤務制度(女親)
6 保育園(認可保育所)
7 認証・認定保育施設(自治体が認証・認定した施設)
8 認定こども園(保育施設と幼稚園が一体化した施設)
9 企業内保育所
10 認可外保育施設
11 ベビーシッター
12 ファミリー・サポート・センター
13 保育園・幼稚園などの一時預かり
14 地域子育て支援センター
15 幼稚園の未就園児親子登園
16 その他の保育施設・サービス
17 どれも利用しなかった

Q20 幼稚園や保育園を利用することなく家庭内で未就学児の子育てをするときに、どんな支援があるとよい(あるとよかった)と思うかお答えください。(回答はいくつでも)

1 事前に予約していなくても子どもを預かってもらえる支援
2 理由を問わずに子どもを預かってもらえる支援
3 自宅でも子どもの世話をしてもらえる支援
4 短時間でも子どもを預かってもらえる支援
5 家事を代わりに行ってもらえる支援
6 自宅に居ながら気軽に相談できる支援(自宅訪問型等)
7 子育てについて気軽に相談できる身近な場所
8 子どもを安心して遊ばせることができる施設
9 その他 具体的に:( )
10 特にない

【すべての方にうかがいます。】

Q21 次の結婚・子育て支援や若者支援の取組のうち、あなたが聞いたことがあるもの、内容も含めて知っているものはどれですか。(回答はそれぞれいくつでも)

- (1) 聞いたことがあるもの
- (2) 内容も含めて知っているもの

1 長野県婚活支援センター	11 チャイルドライン
2 結婚支援ポータルサイト「ハピネスナビ信州」	12 児童相談所虐待対応ダイヤル 189
3 ながの結婚マッチングシステム	13 家庭の日 (毎月第3日曜日)
4 ながの結婚応援パスポート	14 いい育児の日 (11月19日)
5 ながの子育て家庭優待パスポート	15 WE ラブ赤ちゃんプロジェクト
6 職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度	16 幼児教育・保育の無償化
7 ながのパパ手帳	17 こころの健康相談統一ダイヤル
8 第3子以降の保育料の負担軽減	18 よりそいホットライン
9 信州やまほいく (信州型自然保育)	19 ゲートキーパー
10 信州こどもカフェ	20 あてはまるものはない

Q22 (Q4で2、3と回答した人に)

結婚に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

1 前向きになった	4 やや後ろ向きになった
2 やや前向きになった	5 後ろ向きになった
3 気持ちに影響はない	

Q23 (Q22で4、5と回答した人に)

結婚について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

1 異性との出会いの機会が減少したから
2 娯楽施設の休業等によりデートの機会が減少したから
3 希望する就職先に就職できなかったから
4 経済的に不安になったから
5 人員の整理等により自分やパートナーの職場環境が悪化したから
6 自分やパートナーの仕事の時間が不規則になったから
7 独身の気楽さをあらためて実感するようになったから
8 パートナーと仲良く過ごせるか不安になったから
9 外出自粛や在宅ワークなどでストレスを抱える状況になったから
10 自分の人生について考えたから
11 その他 具体的に：( )
12 これ以上理由はない



Q24 (Q4で1と回答した人に)

出産に関する新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたのお気持ちに最も近いものをお答えください。(回答は1つ)

1 前向きになった	4 やや後ろ向きになった
2 やや前向きになった	5 後ろ向きになった
3 気持ちに影響はない	

Q25 (Q24で4、5と回答した人に)

出産について、あなたのお気持ちに影響を与えた要因は何ですか。最大の理由、第2の理由、第3の理由をそれぞれお答えください。(回答はそれぞれ1つ)

- (1) 最大の理由
- (2) 第2の理由
- (3) 第3の理由

1 希望する就職先に就職できなかったから
2 経済的に不安になったから
3 人員の整理等により自分や配偶者(パートナー)の職場環境が悪化したから
4 自分や配偶者(パートナー)の仕事の時間が不規則になったから
5 胎児への影響が不安だから
6 通院や外出などで自分や家族(胎児含む)の感染リスクが高まるから
7 立ち合い出産や面会など希望どおりの出産ができなさそうだから
8 感染症対策により出産や子育てに関わる施設・サービスの利用が制限されているから
9 外出自粛や在宅ワークなどでストレスを抱える状況になったから
10 両親のサポートを受けられるか心配だから
11 外出自粛でママ友・パパ友づくりがしづらいから
12 自分の人生について考えたから
13 その他 具体的に:( )
14 これ以上理由はない

Q26 結婚・子育て・若者支援に関して県への要望などがあれば、ご自由にお書きください。

※日頃の生活を通じて導入して欲しい、更に充実して欲しい、あるいは、力を入れて欲しい制度や取組など(例:近くに相談できる人がいない、公共機関を子連れで利用しにくい、教育費に関する支援制度をもっと情報発信して欲しい など)

※特にない方は、「特になし」とご入力ください。

自由記述
------

## **長野県民の結婚・出産・子育てに関する意識調査報告書**

令和4年8月

調査機関：株式会社インテージリサーチ

発行：長野県将来世代応援県民会議

〒380-8570 長野市大字南長野字幅下692-2

電話 026-235-7207 (直通) fax 026-235-7087

ホームページアドレス <http://nagano-kosodate.net/>

メールアドレス [shoushika@pref.nagano.lg.jp](mailto:shoushika@pref.nagano.lg.jp)